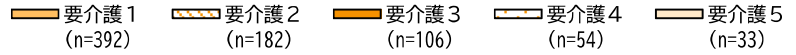
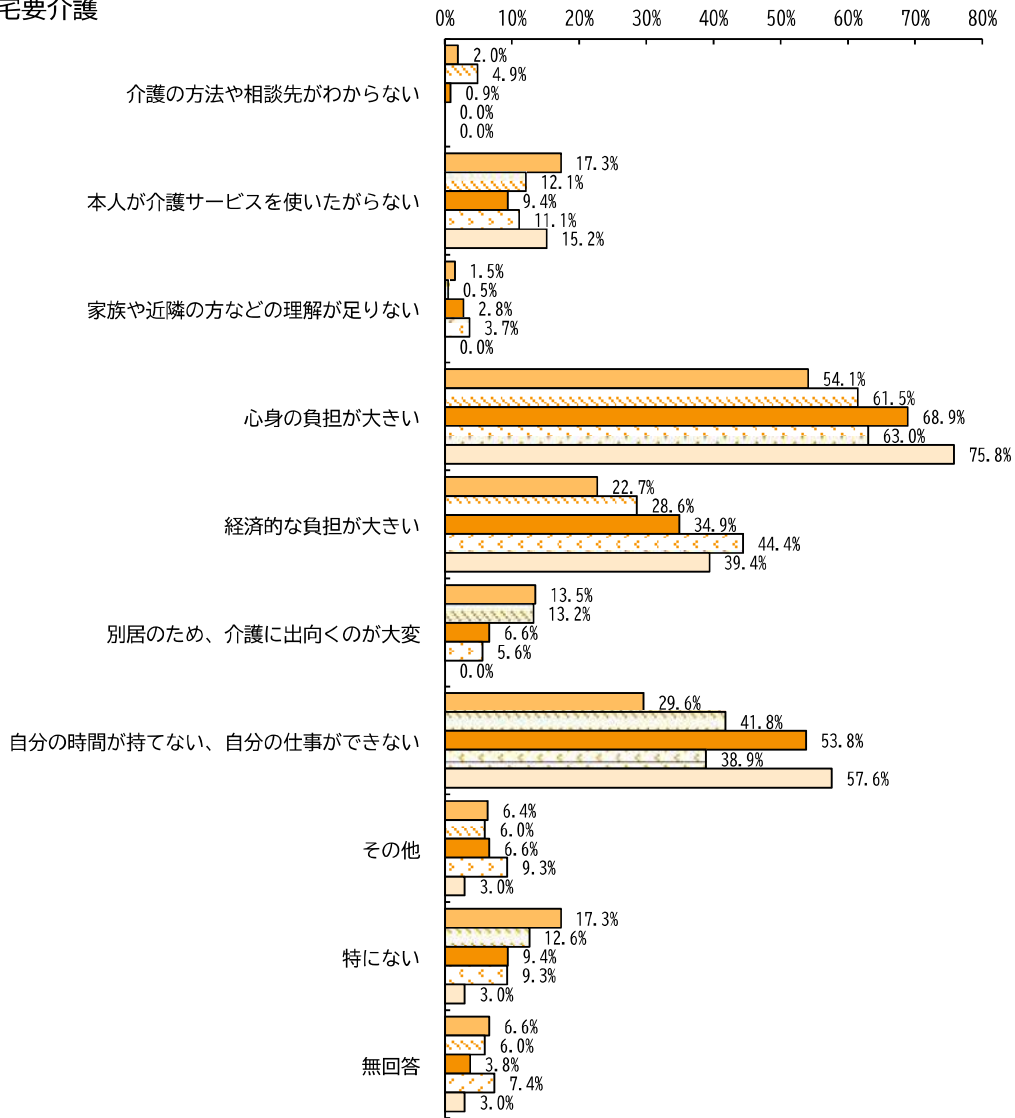


【要介護度別集計】

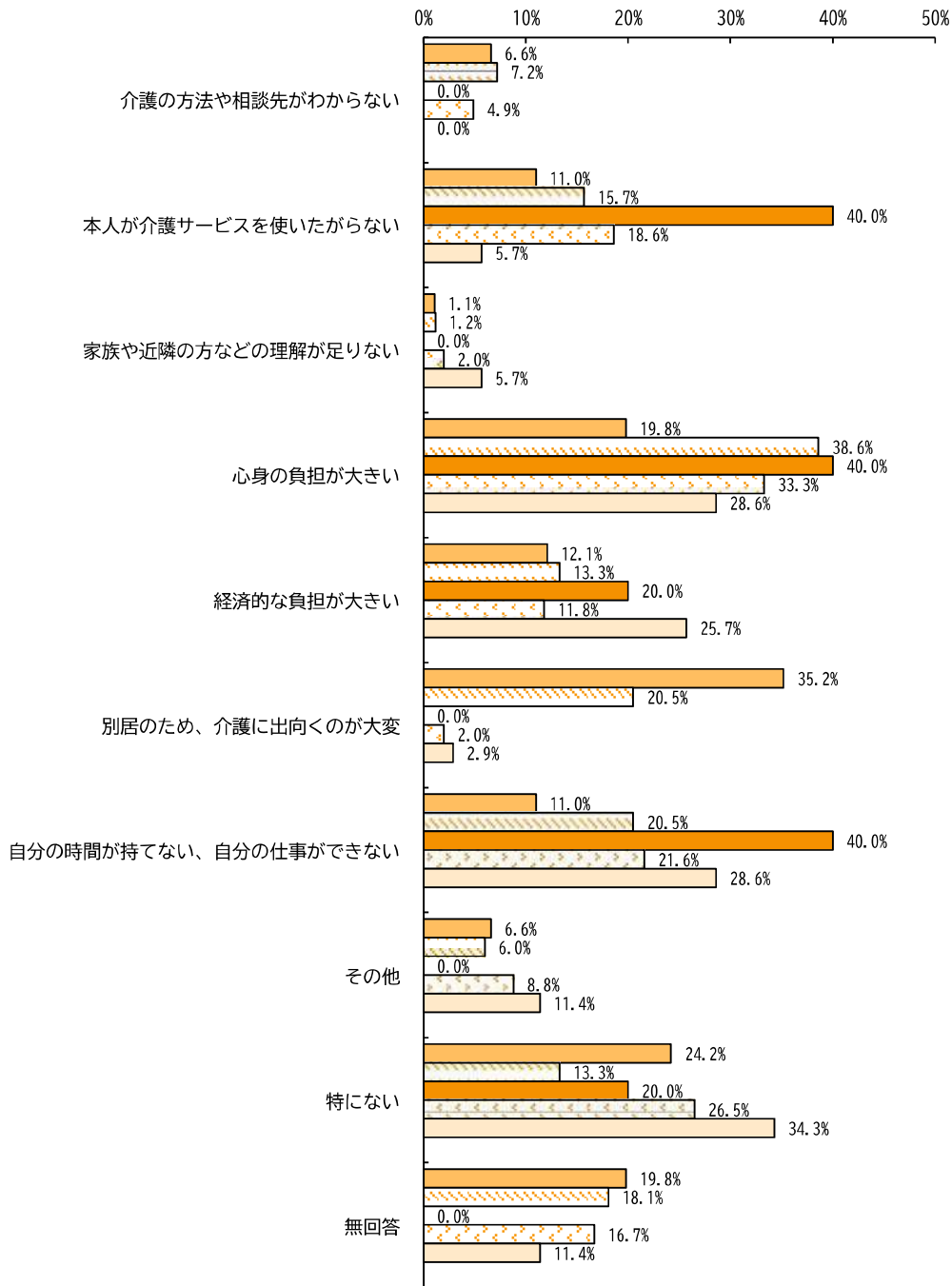
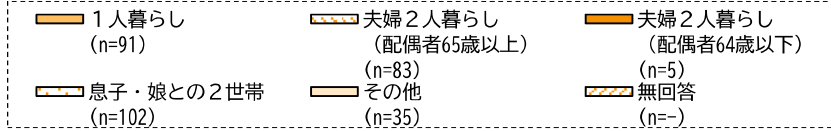


○在宅要介護

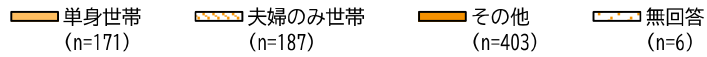


【家族構成別集計】

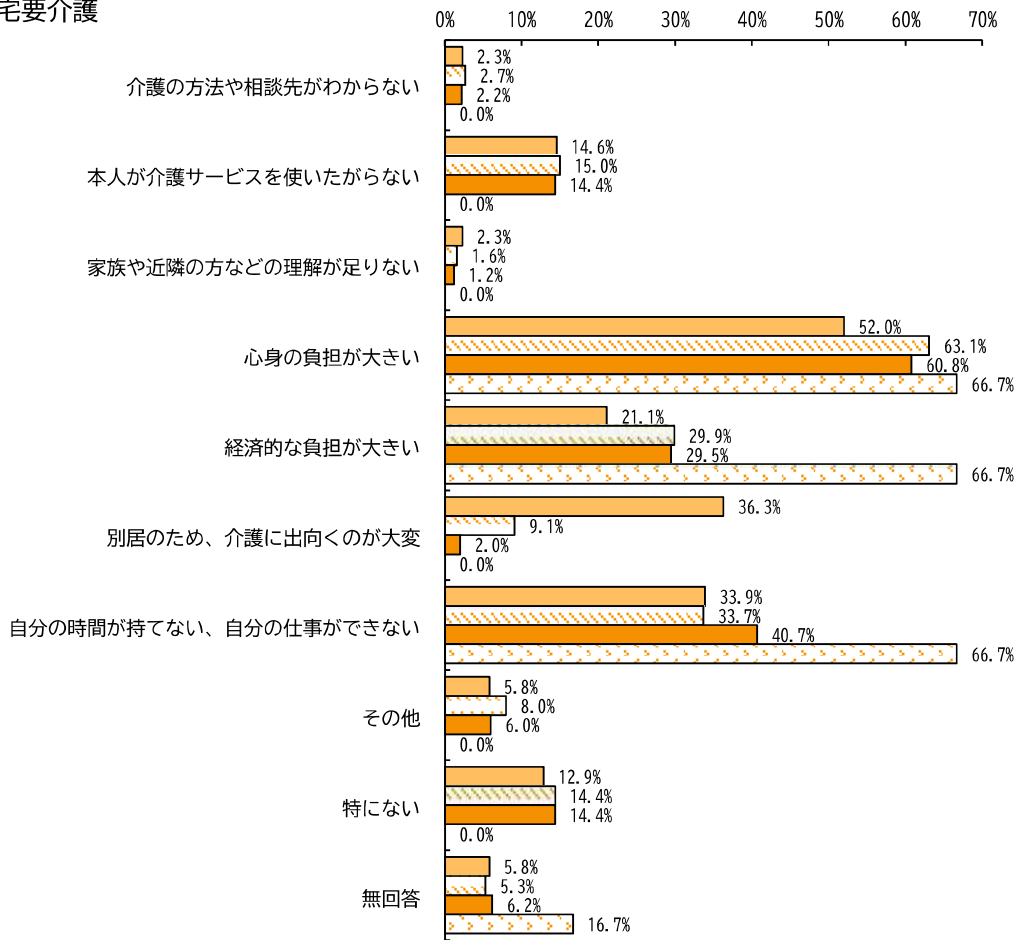
○在宅要支援



【家族構成別集計】



○在宅要介護



## 主な介護者が不安を感じている介護

現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください。(現状で行っているか否かは問いません。)(○は3つまで)

<在宅要支援認定者調査 問74・在宅要介護認定者調査 問30>

## 【単純集計】

回 答	在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合
〔身体介護〕 日中の排泄	32	10.1%	111	14.5%
夜間の排泄	60	19.0%	248	32.3%
食事の介助(食べる時)	10	3.2%	49	6.4%
入浴・洗身	79	25.0%	194	25.3%
身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	13	4.1%	45	5.9%
衣服の着脱	19	6.0%	80	10.4%
屋内の移乗・移動	29	9.2%	120	15.6%
外出の付き添い、送迎等	122	38.6%	227	29.6%
服薬	34	10.8%	105	13.7%
認知症状への対応	55	17.4%	292	38.1%
医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	10	3.2%	44	5.7%
〔生活援助〕 食事の準備(調理等)	70	22.2%	136	17.7%
その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	75	23.7%	114	14.9%
金銭管理や生活面に必要な諸手続き	64	20.3%	122	15.9%
〔その他〕 その他	7	2.2%	18	2.3%
不安を感じていることは、特になし	18	5.7%	28	3.7%
主な介護者に確認しないと、わからない	1	0.3%	1	0.1%
無回答	34	10.8%	28	3.7%
回 答 数	316	-	767	-

単純集計でみると、在宅要支援認定者では、「外出の付き添い、送迎等」の割合が最も高く、次いで「入浴・洗身」となっています。在宅要介護認定者では、「認知症状への対応」の割合が最も高く、次いで「夜間の排泄」となっています。

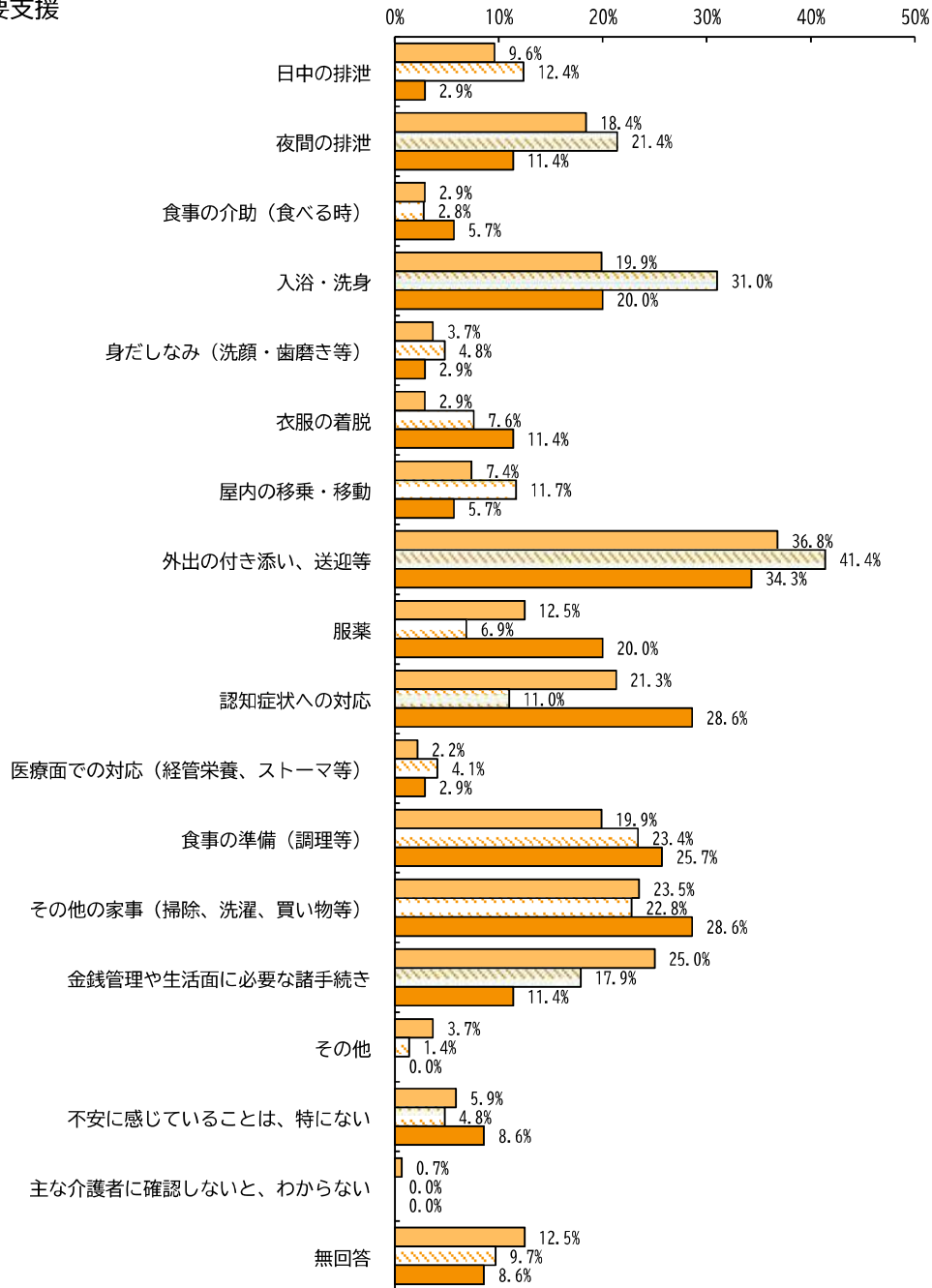
要介護度別でみると、在宅要支援認定者では要支援2の「入浴・洗身」、在宅要介護認定者では要介護4の「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」の割合が他に比べて高くなっています。

家族構成別でみると、在宅要支援認定者では、「認知症状への対応」と「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」で夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)の割合が高くなっています。

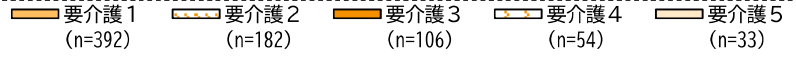
【要介護度別集計】

要支援1 (n=136)      要支援2 (n=145)      事業対象者 (n=35)

○在宅要支援

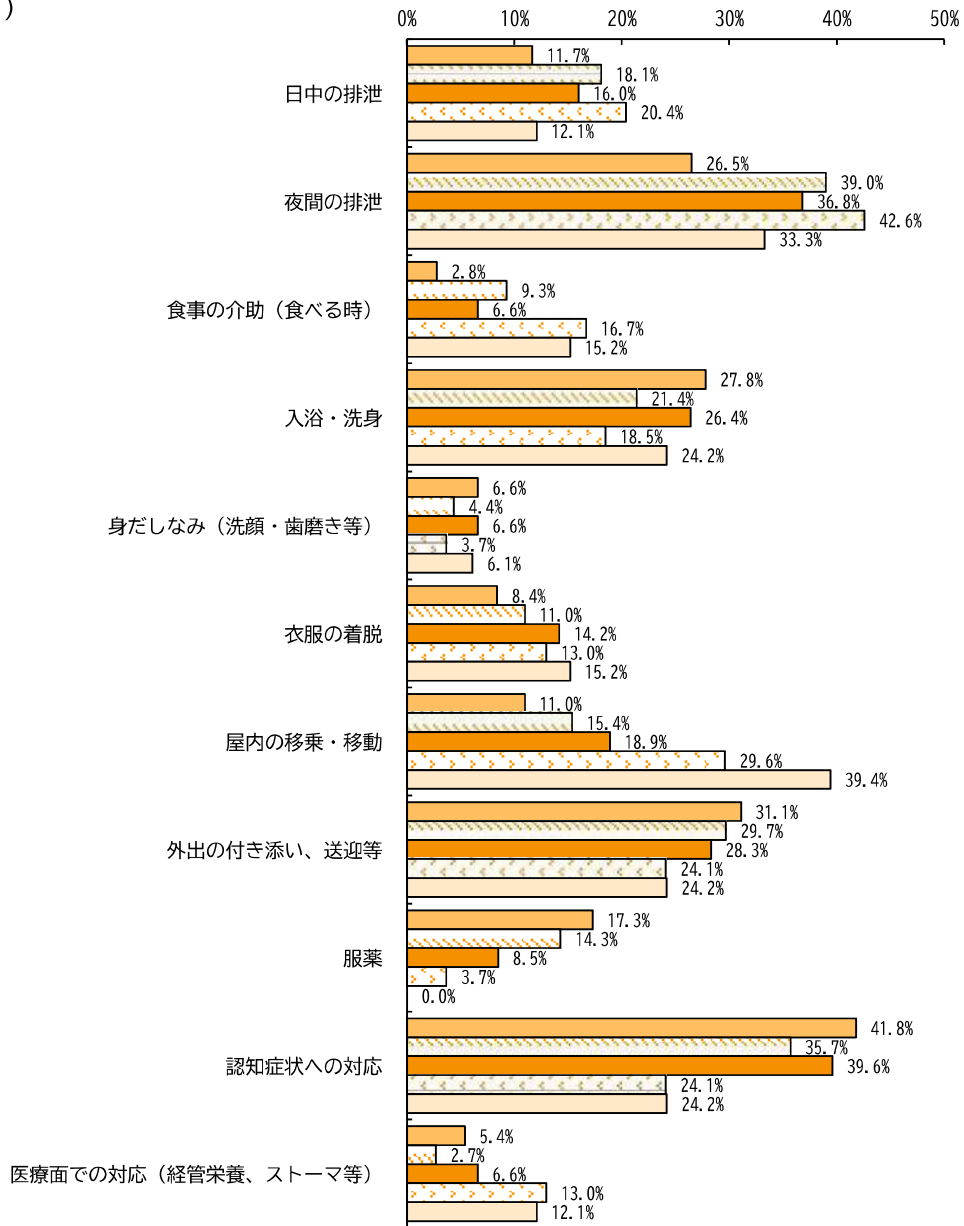


【要介護度別集計】

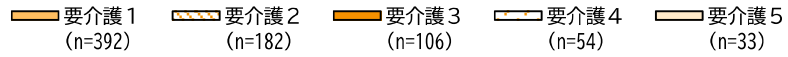


○在宅要介護

(2-1)

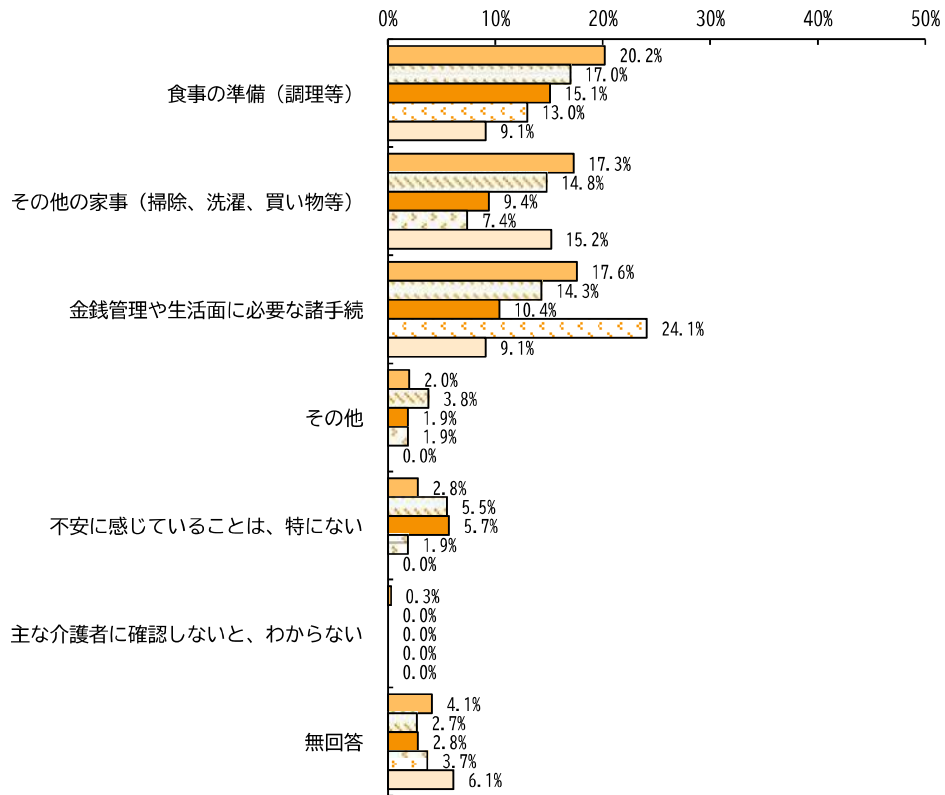


【要介護度別集計】



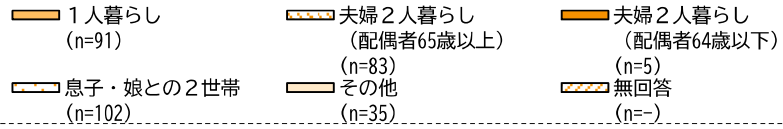
○在宅要介護

(2-2)

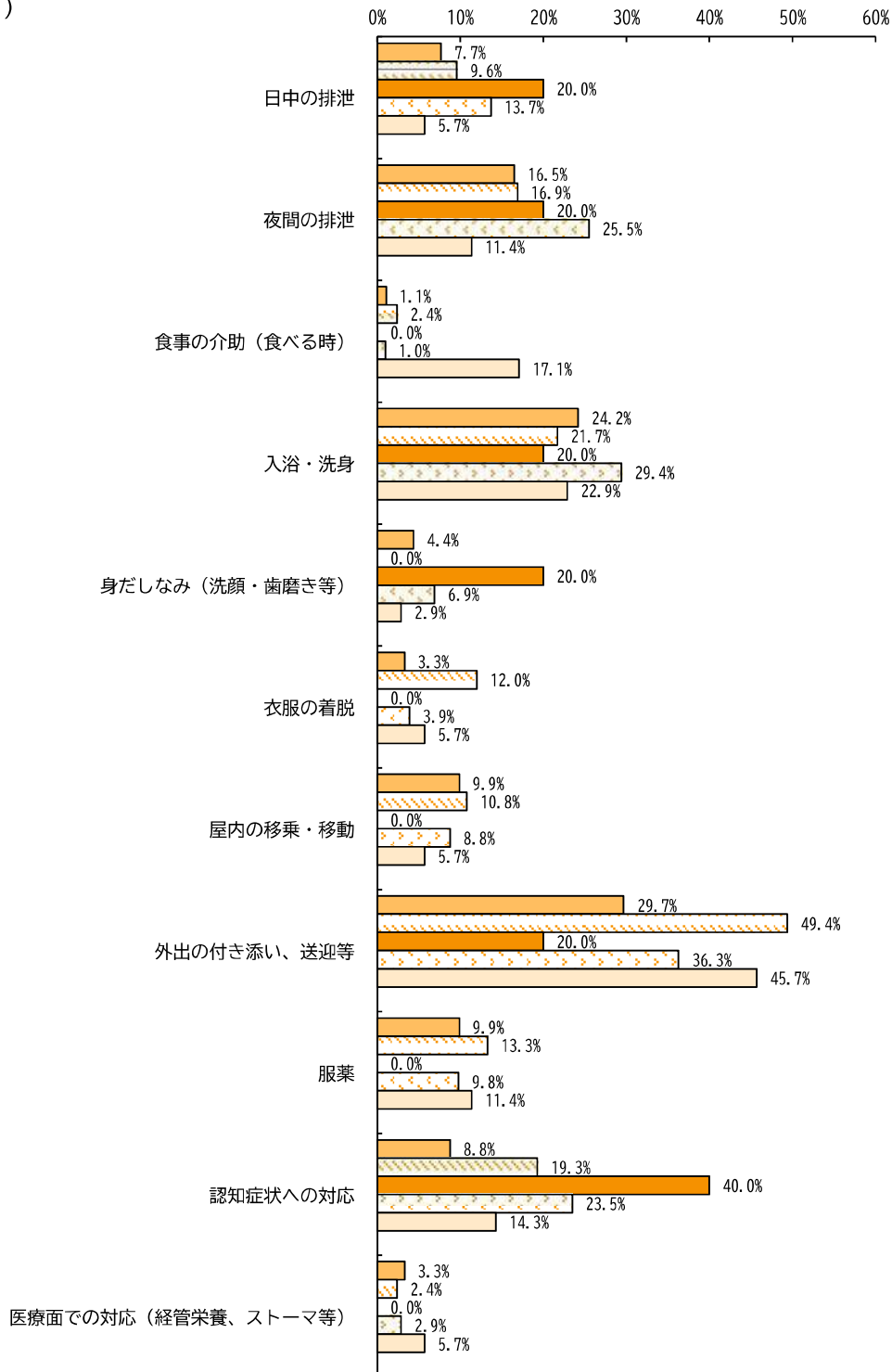


【家族構成別集計】

○在宅要支援

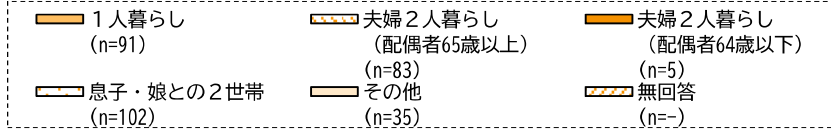


(2-1)

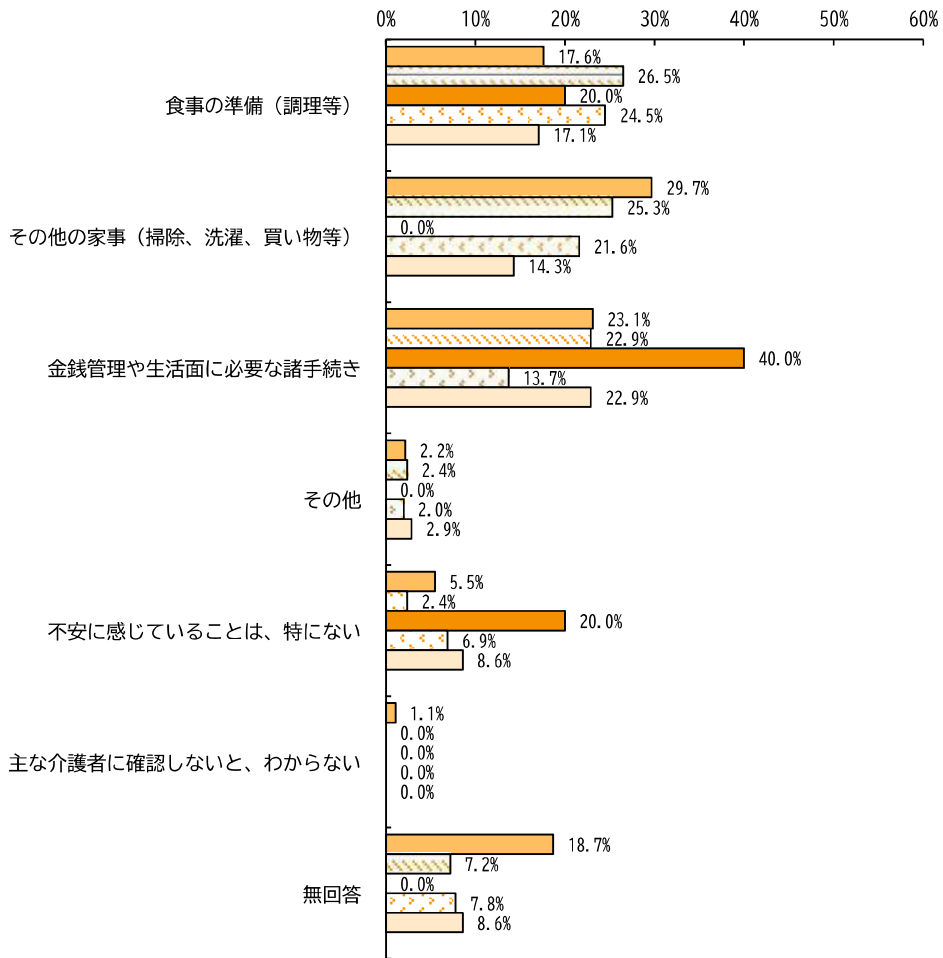


【家族構成別集計】

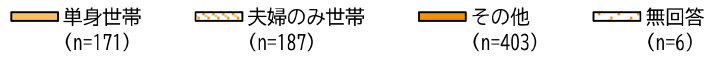
○在宅要支援



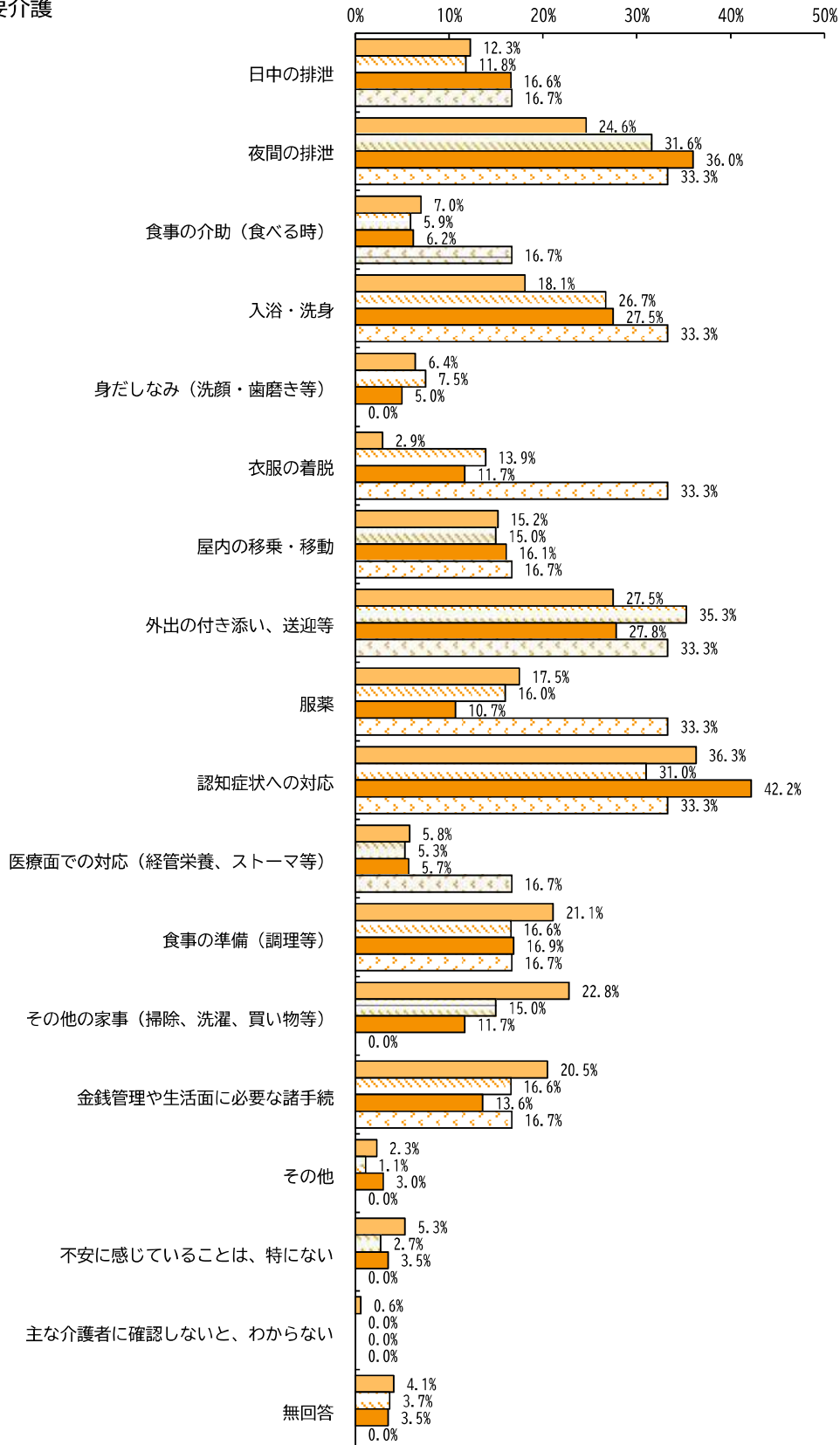
(2-2)



【家族構成別集計】



○在宅要介護



自由意見

高齢者の保健福祉行政についてのご意見をお聞かせください。

<高齢者一般調査 自由意見欄>

内容（意見・要望など）		件数	割合
高齢者福祉に関すること	高齢者が安心して生活できる施策の充実など	5	0.4%
	支援が必要な方に対する福祉施策の充実など	6	0.4%
	ひとり暮らし高齢者等の見守り支援施策の充実、緊急時のサポート体制など	5	0.4%
	生きがいづくり・居場所づくり施策の充実など	9	0.6%
	要介護者を抱える家族への援助・支援	3	0.2%
	健康づくり・介護予防施策の充実、認知症予防施策の充実など	9	0.6%
	高齢者の就労、社会資源としての高齢者の活用、支え手としての活躍など	2	0.1%
	家族・地域での支え合い、自立・自助のあり方など	8	0.6%
	高齢者向けバス・タクシー等交付事業の制度化など	5	0.4%
	終活に関すること	4	0.3%
医療・介護に関すること	医療・介護の連携体制の構築、病院に関するご意見など	1	0.1%
	介護人材の充実、介護施設への適正な指導監督など	3	0.2%
	介護保険サービスの充実、介護保険料の抑制とサービス充実の両立など	6	0.4%
	介護保険料の軽減、利用状況に応じた負担とするべきなど	9	0.6%
	施設の整備、入所費用の軽減など	10	0.7%
年金・健康保険に関すること	年金受給額が少ない、生活費について	19	1.4%
行政全般に関すること	公共交通機関の充実、免許返納者への対策など	17	1.2%
	公共施設の改修・充実、道路の整備など	3	0.2%
	施策のPR、周知不足など情報発信に関すること	13	0.9%
	相談したい、窓口を知りたい、充実してほしいなど	7	0.5%
アンケートに関すること	アンケート結果の報告・説明・活用について	9	0.6%
	内容が難解、アンケートについてのご意見	3	0.2%
その他	感謝（今後の参考としたい、助かっているなど）	13	0.9%
	不満（ニーズの把握不足、施策が不公平、対応が不親切など）	3	0.2%
	自身の生活の様子、今後のこと（心配、不安、悩み）など	38	2.7%
	その他の意見	28	2.0%
合計		238	-

※割合（％）は、有効回収数1,405件に対する率

自由意見

介護保険制度などについて自由なご意見をお聞かせください。

<在宅要支援認定者調査 自由意見欄>

内容（意見・要望など）		在宅要支援	
		件数	割合
介護保険制度に関するもの	介護保険制度は必要、現状のサービスに満足している	11	0.9%
	サービスの充実、サービス利用手続きの簡素化、今後の費用負担に対する不安	15	1.2%
	制度が複雑で難解、介護保険制度に関する情報発信が不足、不十分、要介護認定に関する意見など	19	1.5%
	保険料負担の軽減、保険料負担のあり方など	14	1.1%
施設入所に関するもの	入所費用が不安、待機者を無くして欲しい、入所条件が厳しいなど	6	0.5%
日ごろの介護に関するもの	家族介護者の負担軽減、仕事と介護の両立が困難、など	5	0.4%
	老々介護で今後が不安、今は自活できているが今後が不安、介護サービス利用に対する考え方など	4	0.3%
	介護職員やケアマネジャーに対する感謝、待遇の改善	19	1.5%
	事業所・職員について	11	0.9%
アンケート調査に関するもの	内容が難解、アンケートについてのご意見	10	0.8%
その他	生活の様子、日々の心がけ、健康状態の不安など	42	3.3%
	認知症関連	4	0.3%
	交通・免許返納・移動手段等	14	1.1%
	1人暮らし、孤独	2	0.2%
	その他の意見	28	2.2%
合計		204	-

※割合（％）は、有効回収数1,257件に対する率

自由意見

介護保険制度などについて自由なご意見をお聞かせください。

<在宅要介護認定者調査 自由意見欄>

内容（意見・要望など）		在宅要介護	
		件数	割合
介護保険制度に関するもの	介護保険制度は必要、現状のサービスに満足している	20	1.8%
	サービスの充実、サービス利用手続きの簡素化、今後の費用負担に対する不安	29	2.6%
	制度が複雑で難解、介護保険制度に関する情報発信が不足、不十分、要介護認定に関する意見など	31	2.8%
	保険料負担の軽減、保険料負担のあり方など	14	1.2%
施設入所に関するもの	入所費用が不安、待機者を無くして欲しい、入所条件が厳しいなど	8	0.7%
日ごろの介護に関するもの	家族介護者の負担軽減、仕事と介護の両立が困難、など	8	0.7%
	老々介護で今後が不安、今は自活できているが今後が不安、介護サービス利用に対する考え方など	8	0.7%
	介護職員やケアマネジャーに対する感謝、待遇の改善	17	1.5%
	事業所・職員について	8	0.7%
アンケート調査に関するもの	内容が難解、アンケートについてのご意見	7	0.6%
その他	生活の様子、日々の心がけ、健康状態の不安など	24	2.1%
	認知症関連	7	0.6%
	交通・免許返納・移動手段等	7	0.6%
	その他の意見	19	1.7%
合計		207	-

※割合（％）は、有効回収数1,122件に対する率

# 調査結果

## V 認知症の人とその家族の思い調査



**認知症のタイプ**

あなた（認知症本人）についておたずねします

(5) 認知症のタイプ

<認知症の人とその家族の思い調査 問1⑤>

**【単純集計】**

	件数	割合
アルツハイマー型認知症	153	58.2%
脳血管性認知症	13	4.9%
レビー小体型認知症	26	9.9%
前頭側頭型認知症・ピック病	3	1.1%
混合型認知症	2	0.8%
その他の認知症	7	2.7%
認知症と言われたが確定診断は受けていない（原因疾患がわからないことも含む）	34	12.9%
わからない	25	9.5%
無回答	0	0.0%
合 計	263	100.0%

認知症のタイプは「アルツハイマー型認知症」が58.2%と最も高く、次いで「認知症と言われたが確定診断は受けていない（原因疾患がわからないことも含む）」が12.9%、「レビー小体型認知症」が9.9%などとなっています。

診断を受けてからの期間

あなた（認知症本人）についておたずねします

(6) 診断を受けてからの期間

<認知症の人とその家族の思い調査 問1⑥>

【単純集計】

	件数	割合
1年未満	33	12.5%
1～2年	66	25.1%
3～4年	66	25.1%
5～6年	24	9.1%
7～8年	14	5.3%
9～10年	5	1.9%
11年以上	13	4.9%
わからない	42	16.0%
無回答	0	0.0%
合 計	263	100.0%

診断を受けてからの期間は「1～2年」と「3～4年」が25.1%と最も高く、次いで「わからない」が16.0%、「1年未満」が12.5%などとなっています。

**認知症と診断を受けた時の気持ち**

「認知症」と診断を受けた時のあなた（認知症本人）の気持ちを教えてください（1つ）  
 < 認知症の人とその家族の思い調査 問2 >

**【単純集計】**

	件数	割合
他の病と変わらない受け止め方だった	24	9.1%
認知症ということで不安や抵抗、ショックを感じた	49	18.6%
診断がハッキリしたことで安心した	5	1.9%
よく覚えていない	84	31.9%
その他	101	38.4%
無回答	0	0.0%
合 計	263	100.0%

認知症と診断を受けた時の気持ちは「よく覚えていない」が31.9%と最も高く、次いで「認知症ということで不安や抵抗、ショックを感じた」が18.6%、「他の病と変わらない受け止め方だった」が9.1%などとなっています。

**認知症と診断を受けた時の気持ちの理由や状況（抜粋）**

上記の理由、状況を教えてください（自由）  
 < 認知症の人とその家族の思い調査 問2 - 1 >

他の病と変わらない受け止め方だった

- ・よく知っている医師から「物忘れがでてきている、認知症になっている」と言われたが、物忘れの自覚はあったので深刻に考える事はなかった。
- ・高齢になれば多少の物忘れは自然な事だと思っているから。

認知症ということで不安や抵抗、ショックを感じた

- ・忘れることが増えたが自分がまさかそんな病気になるとは思わなくてショックだった。
- ・この先どうになってしまうのか、病気が進行するのが心配になった。

診断がハッキリしたことで安心した

- ・ショックはなかった。忘れっぽくなったことに不安を感じていたため、診断を受けたことで原因が分かり少しほっとした。
- ・主治医から認知症と言われたことで、向き合っていこうという気持ちになった。

よく覚えていない

- ・詳細は全く覚えていない。認知症という言葉だけ覚えている。
- ・忘れてしまった。

その他

- ・重症になってからの受診であり理解できていない。

**認知症の理解の実感**

周りの人は、あなた（認知症本人）の気持ちや状態を理解していると思いますか（1つ）  
 <認知症の人とその家族の思い調査 問3 >

**【単純集計】**

	件数	割合
とてもよく理解していると思う	78	29.7%
まあまあ理解していると思う	101	38.4%
あまり理解していないと思う	38	14.4%
ほとんど理解していないと思う	10	3.8%
わからない	33	12.5%
その他	3	1.1%
無回答	0	0.0%
合 計	263	100.0%

認知症の理解の実感は「まあまあ理解していると思う」が38.4%と最も高く、次いで「とてもよく理解していると思う」が29.7%、「あまり理解していないと思う」が14.4%などとなっています。

**認知症の理解の実感の理由やエピソード（抜粋）**

上記の理由やエピソードを教えてください（自由）  
 <認知症の人とその家族の思い調査 問3 - 1 >

とてもよく理解していると思う

- ・自分のできることを考えてくれてやれるようにしてくれたり、わからないことはやってくれたりしている。
- ・やりたいことなどわかってきている。

まあまあ理解していると思う

- ・夫と息子の協力があるので助かっている。
- ・毎日、施設の人が声を掛けてくれるので不安はない。

あまり理解していないと思う

- ・会話が成り立たず、抗論になる事が多い。
- ・忘れてしまうことが増え、夫や息子から注意をされ辛いと思うことがある。

ほとんど理解していないと思う

- ・話が合わない。わかってもらえない。
- ・物盗られ妄想の症状がある。

わからない

- ・普通に喋れないので、理解してもらえているかわからない。
- ・周りの方がどう思っているか自分はわからない。

**普段の生活の中で自分の意思を伝えているか**

普段の生活で、あなた（認知症本人）の意思（やりたいこと、できること、してほしいこと、してほしくないこと）を、周りの人に、伝えたいときに伝えていますか（1つ）

<認知症の人とその家族の思い調査 問4 >

**【単純集計】**

	件数	割合
よく伝えている	110	41.8%
ときどき伝えている	67	25.5%
あまり伝えていない	58	22.1%
伝えることができない	9	3.4%
わからない	16	6.1%
その他	3	1.1%
無回答	0	0.0%
合 計	263	100.0%

普段の生活の中で自分の意思を伝えているかは「よく伝えている」が41.8%と最も高く、次いで「ときどき伝えている」が25.5%、「あまり伝えていない」が22.1%などとなっています。

**普段の生活の中で自分の意思を伝えているかの理由やエピソード（抜粋）**

上記の理由やエピソードを教えてください（自由）

<認知症の人とその家族の思い調査 問4 - 1 >

よく伝えている

- ・気は遣うが言いたいことは言っている。
- ・家族が本人に聞くようにしている。
- ・近くに施設の方がいるので、伝えやすい。

ときどき伝えている

- ・伝えているつもりだが、遠慮してしまう。
- ・おやつ「いらない」「食べる」など限定的ではあるが伝えられる。

あまり伝えていない

- ・世話になっている身のため。自分を看ていてくれるだけで満足。
- ・やりたいことの程度による。個人的なことまで言う必要はないと考える。

伝えることができない

- ・施設の人の指導に従って生活しているのみ。
- ・やりたいことも特にない。

わからない

- ・ここでの生活は決められた流れの中で生活していて、伝える必要はない。

暮らしの中で大切にしていること

暮らしの中で、あなた（認知症本人）が大切にしていることは何ですか（複数）

< 認知症の人とその家族の思い調査 問5 >

【単純集計】

	件数	割合
家族や人とのつながり	114	43.3%
できることは自分でやる	133	50.6%
趣味や楽しみを持つ	69	26.2%
静かに穏やかに過ごす	74	28.1%
誰かの役に立ちたい	41	15.6%
自分の気持ちをわかってほしい	30	11.4%
わからない	11	4.2%
その他	32	12.2%
無回答	0	0.0%
回 答 数	263	-

暮らしの中で大切にしていることは「できることは自分でやる」が50.6%と最も高く、次いで「家族や人とのつながり」が43.3%、「静かに穏やかに過ごす」が28.1%などとなっています。

暮らしの中で大切にしていることの原因やエピソード（抜粋）

上記の原因やエピソードを教えてください（自由）

< 認知症の人とその家族の思い調査 問5 - 1 >

家族や人とのつながり

- ・ 本人と同居家族・別居家族で支えあうようにしている。
- ・ 施設の人や一緒に暮らす入居者と、和気あいあいと暮らしている。
- ・ 町内シニアクラブなど馴染みの活動は続けるように努力されている。
- ・ 孫が時々食事に連れて行ってくれるのがとても嬉しくて、それが生きがいになっている。

できることは自分でやる

- ・ 洗濯や毎朝味噌汁とごはんをつくることをしている。
- ・ 食事や入浴などできることはなるべく自分でやっている。
- ・ 家族は大事。掃除や草取りなど、できることはやりたいと思っている。
- ・ 昔からやっていた家事全般をこれからもやっていきたい。

### 趣味や楽しみを持つ

- ・みんなと音楽をしたり、塗り絵やお手伝いをすることで、気持ちが安定して、別のことを考えられるようになる。みんなとやるという一体感。
- ・毎日化粧をすること、スキンケアを怠らない事が本人の中で楽しみになっている。
- ・本を読むことが楽しみ。
- ・楽しく過ごせるように、家族も気にかけてくれている。

### 静かに穏やかに過ごす

- ・自宅での日常生活で、本人の思いや意見だけではなく、家族のアドバイスも取り入れて怒る事なく過ごしている。
- ・人の悪口は言わない。
- ・施設の人と一緒に入居している人も皆がやさしい。周りがお互いに気を遣っている。
- ・体の事もあるし、大事に無理せず過ごせねばならない。

### 誰かの役に立ちたい

- ・食事の取り分けや洗濯物たたみなど積極的に行う。他にも何かやる事がないかと聞いてきたりもする。
- ・誰かの役に立っている実感が湧きにくいいため、自分のなすべきことは何か考えている。
- ・今までいろんな人にお世話になってきたので、その恩を返すために働きたい。でも、自分が今は面倒を見てもらわなければいけないということも分かっている。
- ・グループホームではどの入居者も役割を持って生活している。

### 自分の気持ちをわかってほしい

- ・若い方へ自分から言うことは少ない。
- ・意味不明ではあるが訴えは多い。

### わからない

- ・質問の意味が分らなかった様子だった。

**地域や暮らしの中でのコミュニティ**

あなた（認知症本人）には、地域や暮らしの中に、顔見知りの人や話せる人はいますか（1つ）  
 < 認知症の人とその家族の思い調査 問6 >

**【単純集計】**

	件数	割合
よく会って話をする人がいる	110	41.8%
あいさつする程度のつきあいがある人がいる	92	35.0%
あまり関わりはない	50	19.0%
わからない	5	1.9%
その他	6	2.3%
無回答	0	0.0%
合 計	263	100.0%

地域や暮らしの中でのコミュニティは「よく会って話をする人がいる」が41.8%と最も高く、次いで「あいさつする程度のつきあいがある人がいる」が35.0%、「あまり関わりはない」が19.0%などとなっています。

**困ったときの相談先**

あなた（認知症本人）には、困ったときに相談できる人はいますか（複数）  
 < 認知症の人とその家族の思い調査 問7 >

**【単純集計】**

	件数	割合
家族	182	69.2%
友人・知人	33	12.5%
地域、隣近所の人	14	5.3%
地域包括支援センター	10	3.8%
ケアマネジャー、医療・介護の支援者	106	40.3%
いない	14	5.3%
その他	30	11.4%
無回答	0	0.0%
回 答 数	263	-

困ったときの相談先は「家族」が69.2%と最も高く、次いで「ケアマネジャー、医療・介護の支援者」が40.3%、「友人・知人」が12.5%などとなっています。

**希望に沿った医療・介護サービス**

いま受けている医療・介護サービス（デイサービス、ヘルパー、訪問診療・訪問看護・訪問薬局、かかりつけ医の診察、ケアマネジャーの支援、介護施設など）は、あなた（認知症本人）の思いや希望に合っていると思いますか（1つ）

<認知症の人とその家族の思い調査 問8 >

**【単純集計】**

	件数	割合
とても合っている（思いや希望をわかっている）	108	41.1%
だいたい合っている	103	39.2%
あまり合っていない（ちがうと思うことがある）	15	5.7%
まったく合っていない	1	0.4%
わからない	24	9.1%
サービスは受けていない	5	1.9%
その他	7	2.7%
無回答	0	0.0%
合 計	263	100.0%

希望に沿った医療・介護サービスは「とても合っている（思いや希望をわかっている）」が41.1%と最も高く、次いで「だいたい合っている」が39.2%、「わからない」が9.1%などとなっています。

**いま受けている支援について思っていること**

いま受けている支援について、あなた（認知症本人）が思っていることがあれば教えてください（自由）

<認知症の人とその家族の思い調査 問8 - 1 >

とても合っている（思いや希望をわかっている）

- ・ケアマネジャーがとても親身になってくれて、いろいろ相談できる。
- ・好きなことが出来る環境。

だいたい合っている

- ・デイケアに通っているが、特に不満はない。「こうしてほしい」という希望もない。可もなく不可もなく。
- ・安心して生活できている。

あまり合っていない（ちがうと思うことがある）

- ・デイサービスには行かなくても良いと思っている。
- ・グループホームに入居して間もないが、自分の思っていたところではなかった。別の所に移りたい。

まったく合っていない

- ・この施設に入居する時、「これから、共同生活になる。自分の思いとおりになることばかりではない。わがままを言うてはいけない。」と娘に言われている。

わからない

- ・今受けているサービスについての理解が乏しい。

**安心して暮らすために必要だと感じること**

安心して暮らすために、あなた（認知症本人）が必要だと感じることは何ですか（複数）

< 認知症の人とその家族の思い調査 問9 >

**【単純集計】**

	件数	割合
家族や身近な人、地域の支え	150	57.0%
当事者同士が話せる場所	38	14.4%
必要なときに相談できること（認知症に備えること）	52	19.8%
無理せず暮らせる環境（心身のゆとり）	92	35.0%
自分の意思（やりたいこと、できること）を尊重してもらえること	88	33.5%
趣味や地域の活動に参加	48	18.3%
医療・介護の支援	69	26.2%
その他	37	14.1%
無回答	0	0.0%
回 答 数	263	-

安心して暮らすために必要だと感じることは「家族や身近な人、地域の支え」が57.0%と最も高く、次いで「無理せず暮らせる環境（心身のゆとり）」が35.0%、「自分の意思（やりたいこと、できること）を尊重してもらえること」が33.5%などとなっています。

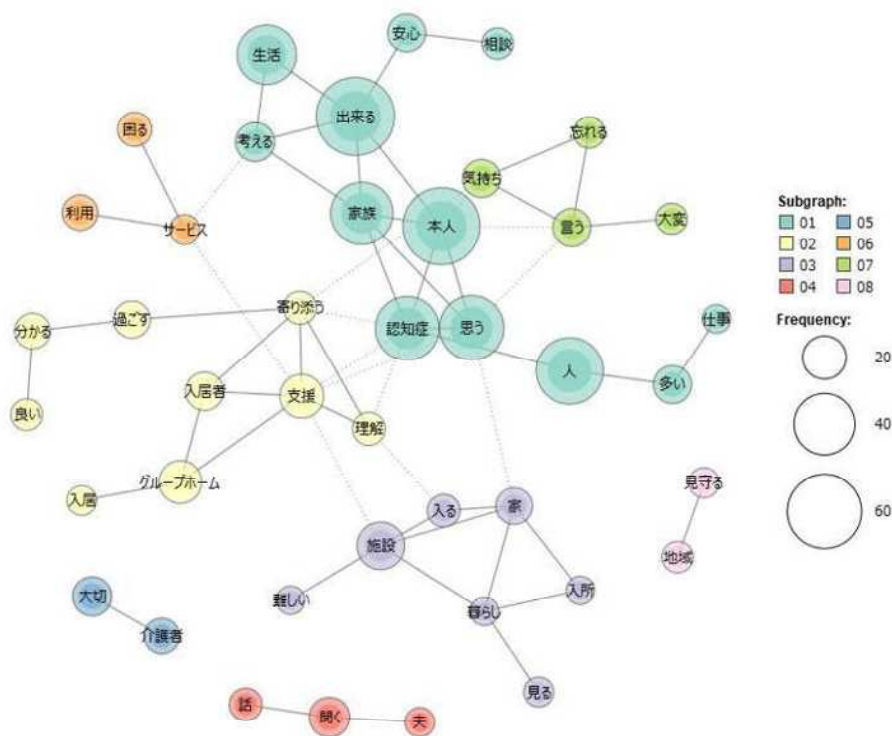
安心して暮らすために「ご家族等の介護者」として感じていること

安心して暮らすために、「ご家族等の介護者」として感じていることがあれば教えてください  
(自由)

<認知症の人とその家族の思い調査 問9 - 1 >

KH-coder (ver3.02c) を使用してテキストマイニングを行いました。

共起ネットワークは以下のとおりです。強く結びついた単語が色ごとにグループ化されており、線の太さは単語の結びつきの強さを示しています。また、円が大きければ大きいほど、出現回数が多いことを示しています。



頻出語は以下のとおりです。

抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
出来る	67	気持ち	15	続ける	10
本人	65	言う	15	対応	10
人	49	多い	15	大変	10
思う	45	入居者	15	地域	10
認知症	44	家	14	必要	10
家族	42	過ごす	14	忘れる	10
生活	38	介護者	13	良い	10
施設	24	分かる	13	サービス	9
自分	24	暮らす	13	気	9
介護	23	利用	13	見る	9
支援	20	困る	12	見守る	9
グループホーム	19	寄り添う	11	入居	9
今	17	入る	11	夫	9
聞く	17	理解	11	仕事	8
考える	16	話	11	自宅	8
大切	16	感じる	10	難しい	8
安心	15	相談	10	入所	8
				暮らし	8

**所属事業所**

所属事業所について教えてください(1つ)

< 認知症の人とその家族の思い調査 ① >

**【単純集計】**

	件数	割合
地域包括支援センター	32	12.2%
居宅介護支援事業所(ケアマネジャー)	100	38.0%
認知症対応型通所介護事業所	4	1.5%
認知症対応型共同生活介護事業所	17	6.5%
上記以外の介護サービス提供事業所	7	2.7%
行政職員	102	38.8%
その他	1	0.4%
無回答	0	0.0%
合 計	263	100.0%

所属事業所は「行政職員」が38.8%と最も高く、次いで「居宅介護支援事業所(ケアマネジャー)」が38.0%、「地域包括支援センター」が12.2%などとなっています。

# 調査結果

## VI 認知症に関する意識調査



**職業**

この調査に回答して下さるあなたご自身についておたずねします

(4) 職業

<認知症に関する意識調査 問1④>

**【単純集計】**

	件数	割合
個人事業主・会社経営者（役員）	33	6.1%
家族従業（家事手伝い）	4	0.7%
勤め（全日）	310	57.0%
勤め（パートタイム）	114	21.0%
専業主婦・主夫	40	7.4%
学生	26	4.8%
その他、無職	17	3.1%
無回答	0	0.0%
合 計	544	100.0%

単純集計で見ると、「勤め（全日）」が57.0%と最も高く、次いで「勤め（パートタイム）」が21.0%、「専業主婦・主夫」が7.4%などとなっています。

認知症について知っていること

「認知症」について、どのようなことを知っていますか（複数）  
 < 認知症に関する意識調査 問2 >

【単純集計】

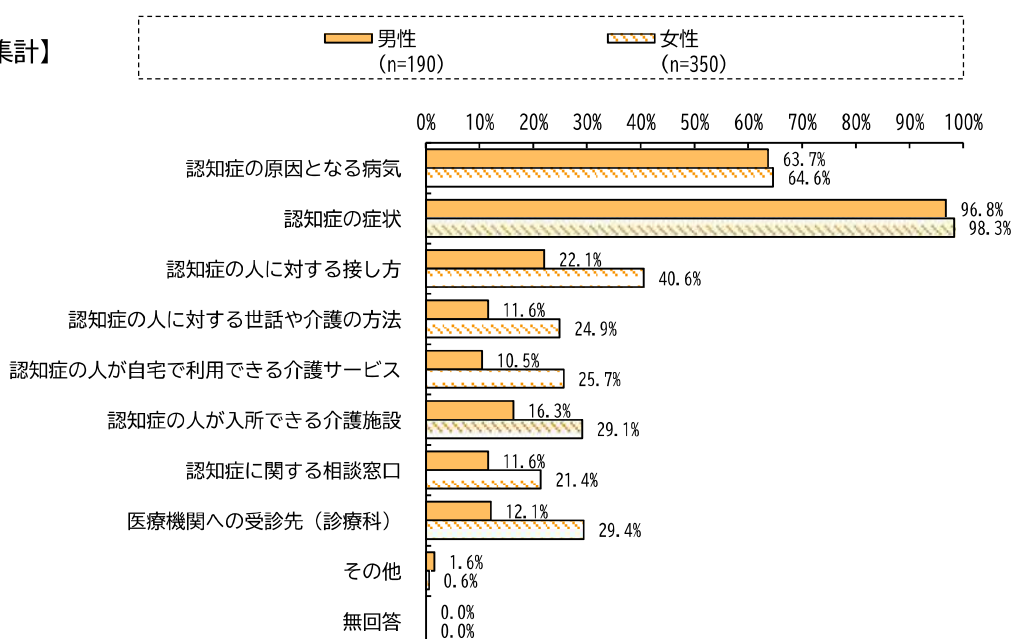
	件数	割合
認知症の原因となる病気 (アルツハイマー病、血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症など)	348	64.0%
認知症の症状（物忘れ、できていたことができなくなる、言葉や認識力の低下、不安やうつ、幻覚・妄想、イライラと興奮、ひとり歩き・道に迷うなど）	532	97.8%
認知症の人に対する接し方（話しかけの仕方、本人の意思・自尊心の尊重など）	186	34.2%
認知症の人に対する世話や介護の方法	111	20.4%
認知症の人が自宅で利用できる介護サービス	111	20.4%
認知症の人が入所できる介護施設	135	24.8%
認知症に関する相談窓口	98	18.0%
医療機関への受診先（診療科）	127	23.3%
その他	5	0.9%
無回答	0	0.0%
回 答 数	544	-

単純集計でみると、「認知症の症状（物忘れ、できていたことができなくなる、言葉や認識力の低下、不安やうつ、幻覚・妄想、イライラと興奮、ひとり歩き・道に迷うなど）」が97.8%と最も高く、次いで「認知症の原因となる病気（アルツハイマー病、血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症など）」が64.0%、「認知症の人に対する接し方（話しかけの仕方、本人の意思・自尊心の尊重など）」が34.2%などとなっています。

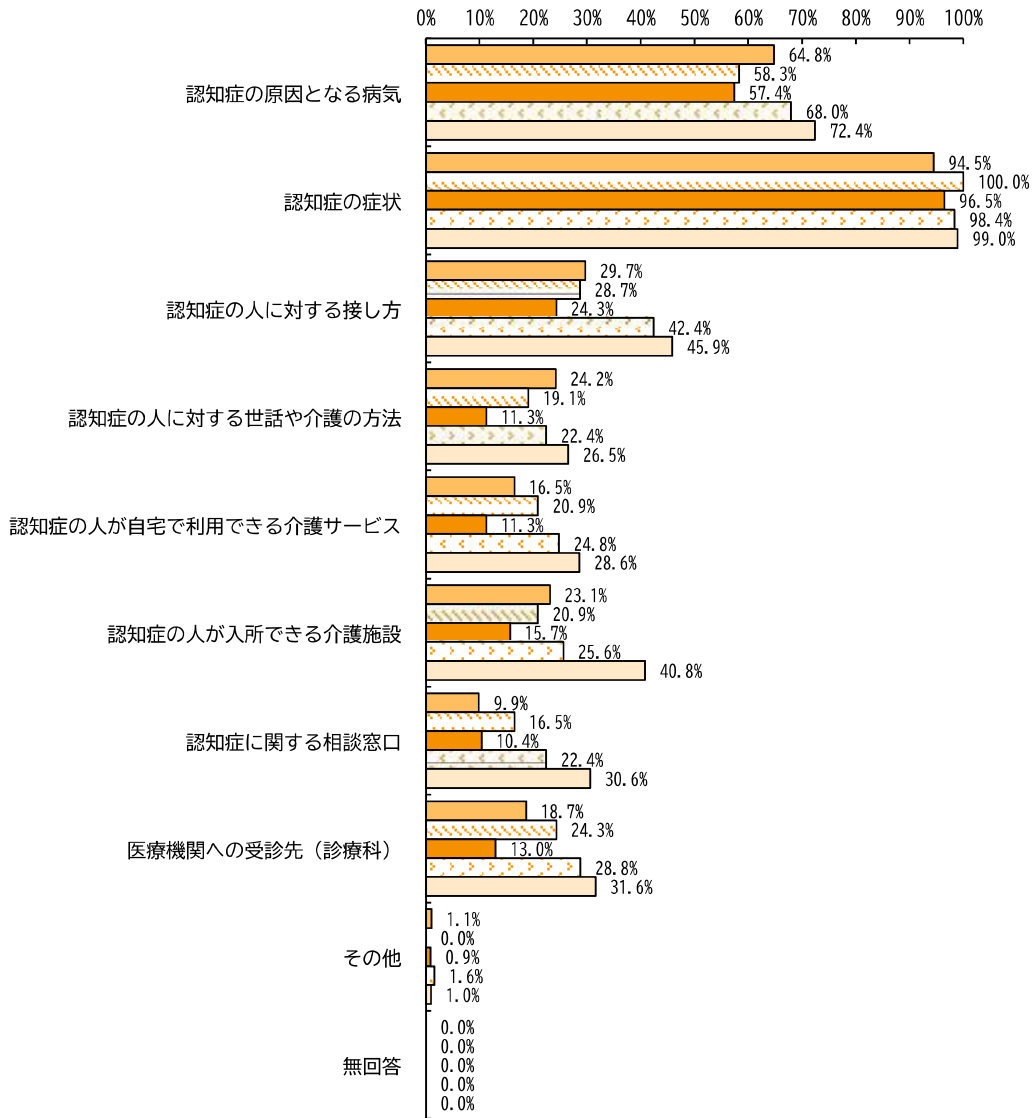
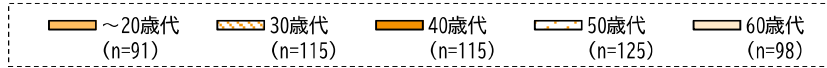
性別でみると、すべての項目で女性のほうが高くなっています。

年齢別でみると、「認知症の原因となる病気」と「認知症の症状」はすべての年齢で5割を超えています。

【性別集計】



【年齢別集計】



若年性認知症について知っていること

若年性認知症について、どのようなことを知っていますか（複数）

< 認知症に関する意識調査 問3 >

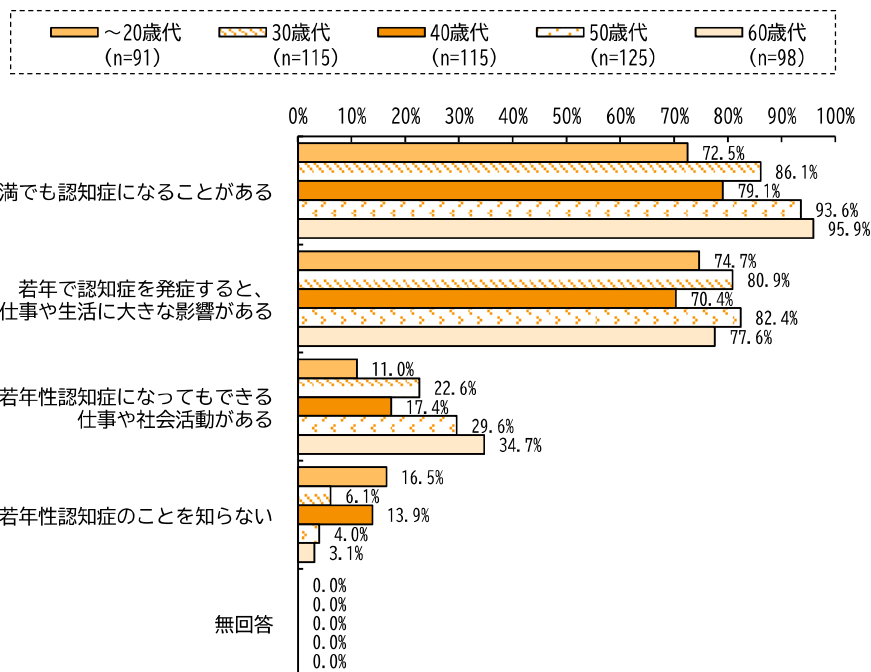
【単純集計】

	件数	割合
65歳未満でも認知症になることがある	467	85.8%
若年で認知症を発症すると、仕事や生活に大きな影響がある	421	77.4%
若年性認知症になってもできる仕事や社会活動がある	127	23.3%
若年性認知症のことを知らない	46	8.5%
無回答	0	0.0%
回答数	544	-

単純集計でみると、「65歳未満でも認知症になることがある」が85.8%と最も高く、次いで「若年で認知症を発症すると、仕事や生活に大きな影響がある」が77.4%、「若年性認知症になってもできる仕事や社会活動がある」が23.3%などとなっています。

年齢別でみると、「65歳未満でも認知症になることがある」は50歳代と60歳代で9割を超えています。

【年齢別集計】



認知症の人の日常生活のイメージ

認知症の人が日常生活を送るイメージについて、どのように想像しますか（1つ）

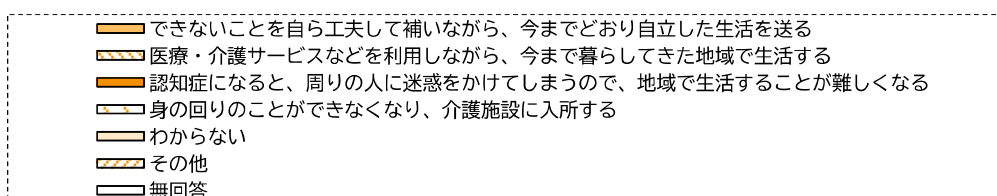
< 認知症に関する意識調査 問4 >

【単純集計】

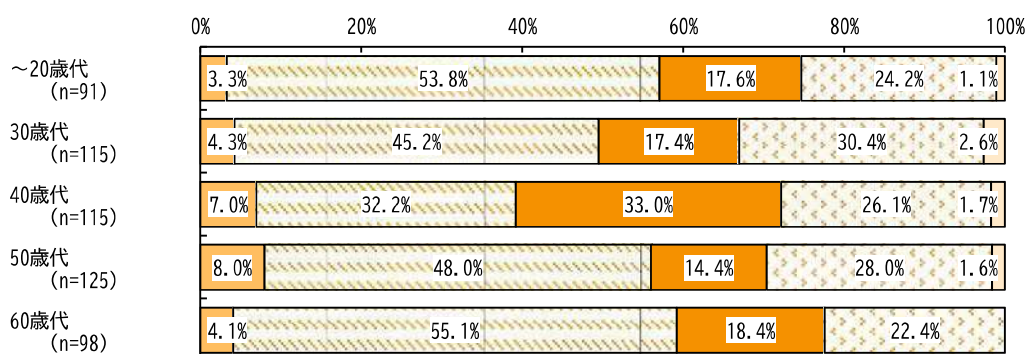
	件数	割合
できないことを自ら工夫して補いながら、今までどおり自立した生活を送る	30	5.5%
医療・介護サービスなどを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活する	252	46.3%
認知症になると、周りの人に迷惑をかけてしまうので、地域で生活することが難しくなる	110	20.2%
身の回りのことができなくなり、介護施設に入所する	144	26.5%
わからない	8	1.5%
その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合 計	544	100.0%

単純集計で見ると、「医療・介護サービスなどを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活する」が46.3%と最も高く、次いで「身の回りのことができなくなり、介護施設に入所する」が26.5%、「認知症になると、周りの人に迷惑をかけてしまうので、地域で生活することが難しくなる」が20.2%などとなっています。

年齢別で見ると、「認知症になると、周りの人に迷惑をかけてしまうので、地域で生活することが難しくなる」は40歳代で高くなっています。



【年齢別集計】



自分や家族が認知症になった時のこと

自分や家族が認知症になった時のことを考えたことがありますか（1つ）

< 認知症に関する意識調査 問5 >

【単純集計】

	件数	割合
考えたことがある	415	100.0%
考えたことはない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合 計	415	100.0%

自分や家族が認知症になった時のことは「考えたことがある」が100.0%となっています。

自分や家族が認知症になった場合、近所の人に知ってほしいか

「考えたことがある」と回答した方にお伺いします。

自分や家族が認知症になった場合、そのことを近所の人に知ってほしいですか（1つ）

<認知症に関する意識調査 問6>

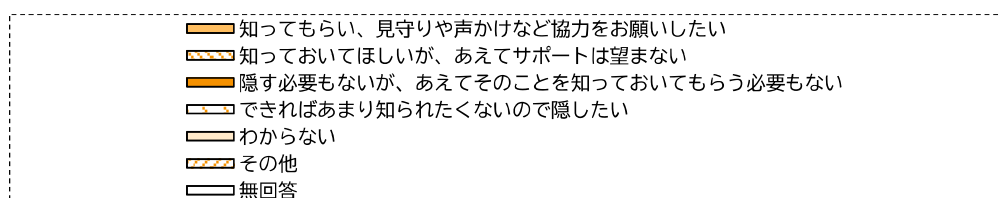
【単純集計】

	件数	割合
知ってもらい、見守りや声かけなど協力をお願いしたい	198	47.7%
知っておいてほしいが、あえてサポートは望まない	54	13.0%
隠す必要もないが、あえてそのことを知っておいてもらう必要もない	137	33.0%
できればあまり知られたくないので隠したい	10	2.4%
わからない	15	3.6%
その他	1	0.2%
無回答	0	0.0%
合計	415	100.0%

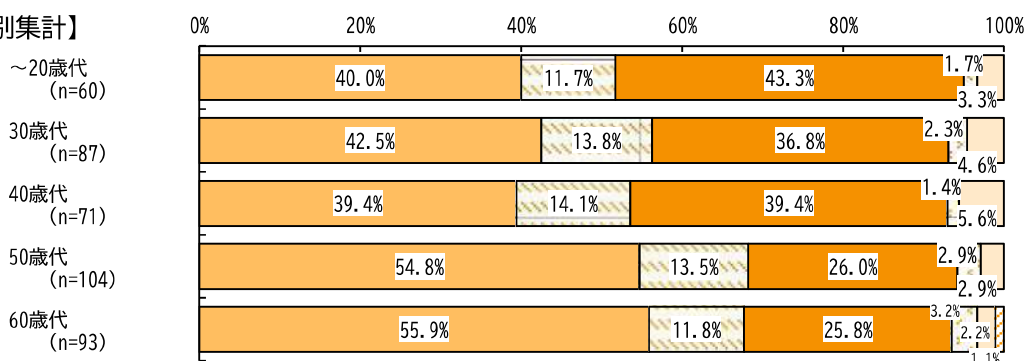
単純集計でみると、「知ってもらい、見守りや声かけなど協力をお願いしたい」が47.7%と最も高く、次いで「隠す必要もないが、あえてそのことを知っておいてもらう必要もない」が33.0%、「知っておいてほしいが、あえてサポートは望まない」が13.0%などとなっています。

年齢別でみると、「隠す必要もないが、あえてそのことを知っておいてもらう必要もない」は～20歳代から40歳代で4割前後となっています。

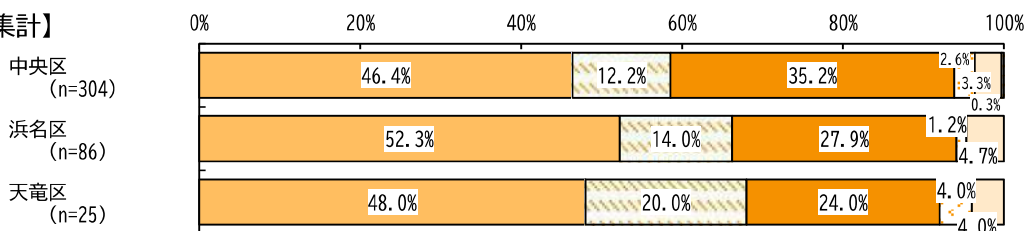
区別でみると、大きな違いはみられません。



【年齢別集計】



【区別集計】



自分や家族が認知症になった場合、どのように暮らしたいか

「考えたことがある」と回答した方にお伺いします

自分や家族が認知症になった場合、どのように暮らしたいと考えますか（1つ）

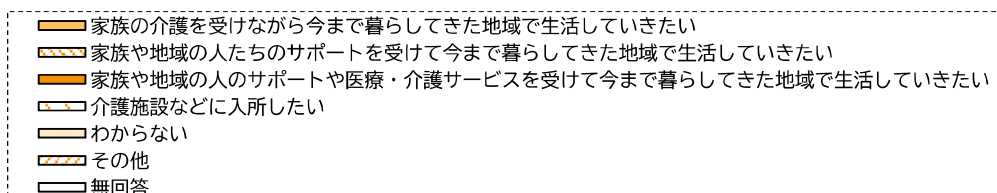
<認知症に関する意識調査 問7>

【単純集計】

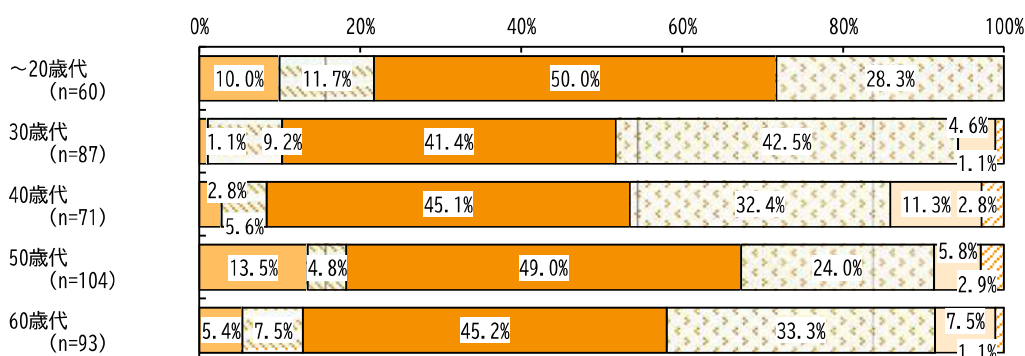
	件数	割合
家族の介護を受けながら今まで暮らしてきた地域で生活していきたい	28	6.7%
家族や地域の人たちのサポートを受けて今まで暮らしてきた地域で生活していきたい	31	7.5%
家族や地域の人たちのサポートや医療・介護サービスを受けて今まで暮らしてきた地域で生活していきたい	191	46.0%
介護施設などに入所したい	133	32.0%
わからない	25	6.0%
その他	7	1.7%
無回答	0	0.0%
合計	415	100.0%

単純集計でみると、「家族や地域の人たちのサポートや医療・介護サービスを受けて今まで暮らしてきた地域で生活していきたい」が46.0%と最も高く、次いで「介護施設などに入所したい」が32.0%、「家族や地域の人たちのサポートを受けて今まで暮らしてきた地域で生活していきたい」が7.5%などとなっています。

年齢別でみると、30歳代では「介護施設などに入所したい」が最も高くなっています。



【年齢別集計】



自分や家族が認知症になった場合の相談先

「考えたことがある」と回答した方にお伺いします

自分や家族が認知症になった場合、どこに（誰に）相談しますか（複数）

< 認知症に関する意識調査 問8 >

【単純集計】

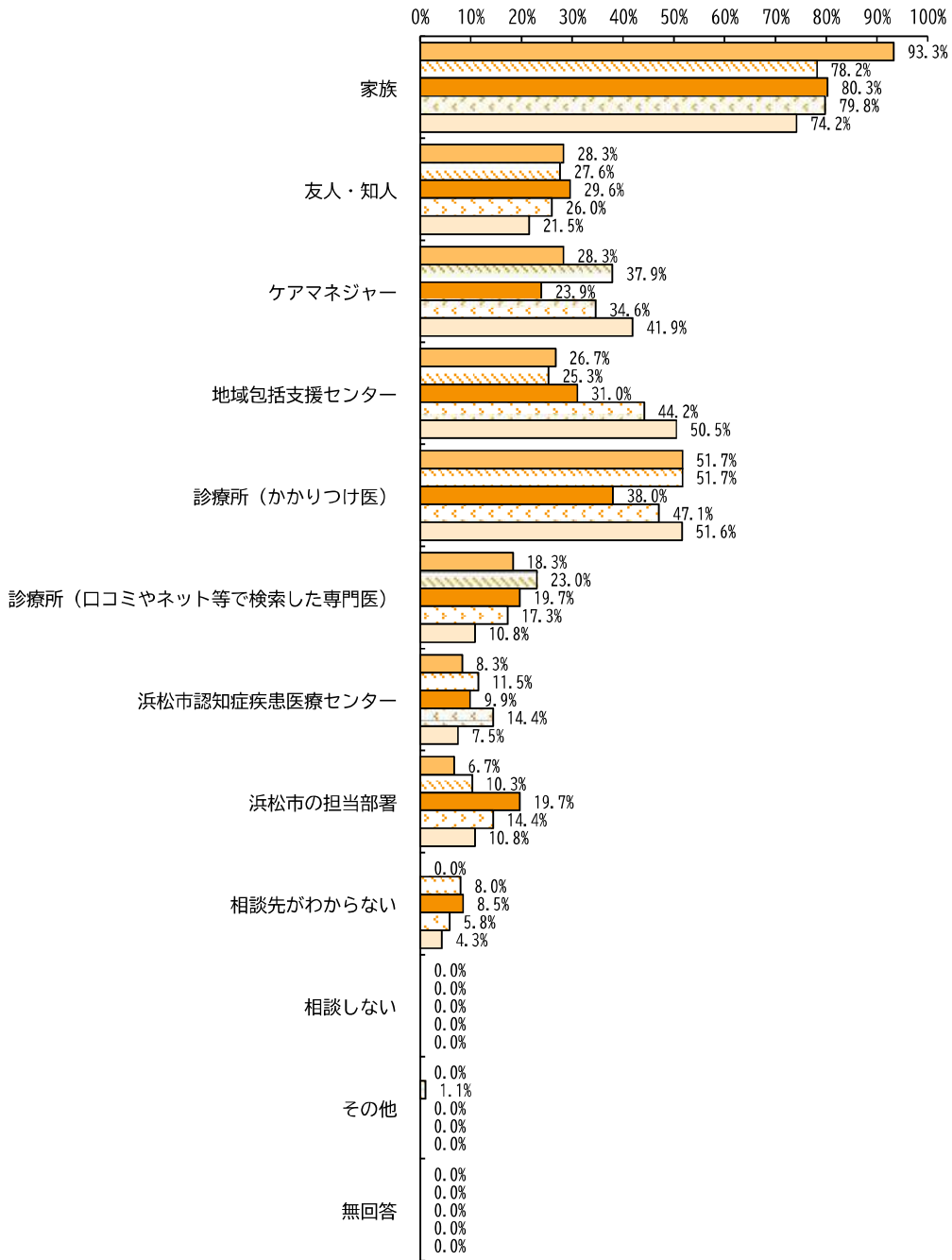
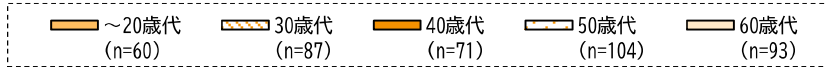
	件数	割合
家族	333	80.2%
友人・知人	109	26.3%
ケアマネジャー	142	34.2%
地域包括支援センター	153	36.9%
診療所（かかりつけ医）	200	48.2%
診療所（口コミやネット等で検索した専門医）	73	17.6%
浜松市認知症疾患医療センター	44	10.6%
浜松市の担当部署	52	12.5%
相談先がわからない	23	5.5%
相談しない	0	0.0%
その他	1	0.2%
無回答	0	0.0%
回 答 数	415	-

単純集計でみると、「家族」が80.2%と最も高く、次いで「診療所（かかりつけ医）」が48.2%、「地域包括支援センター」が36.9%などとなっています。

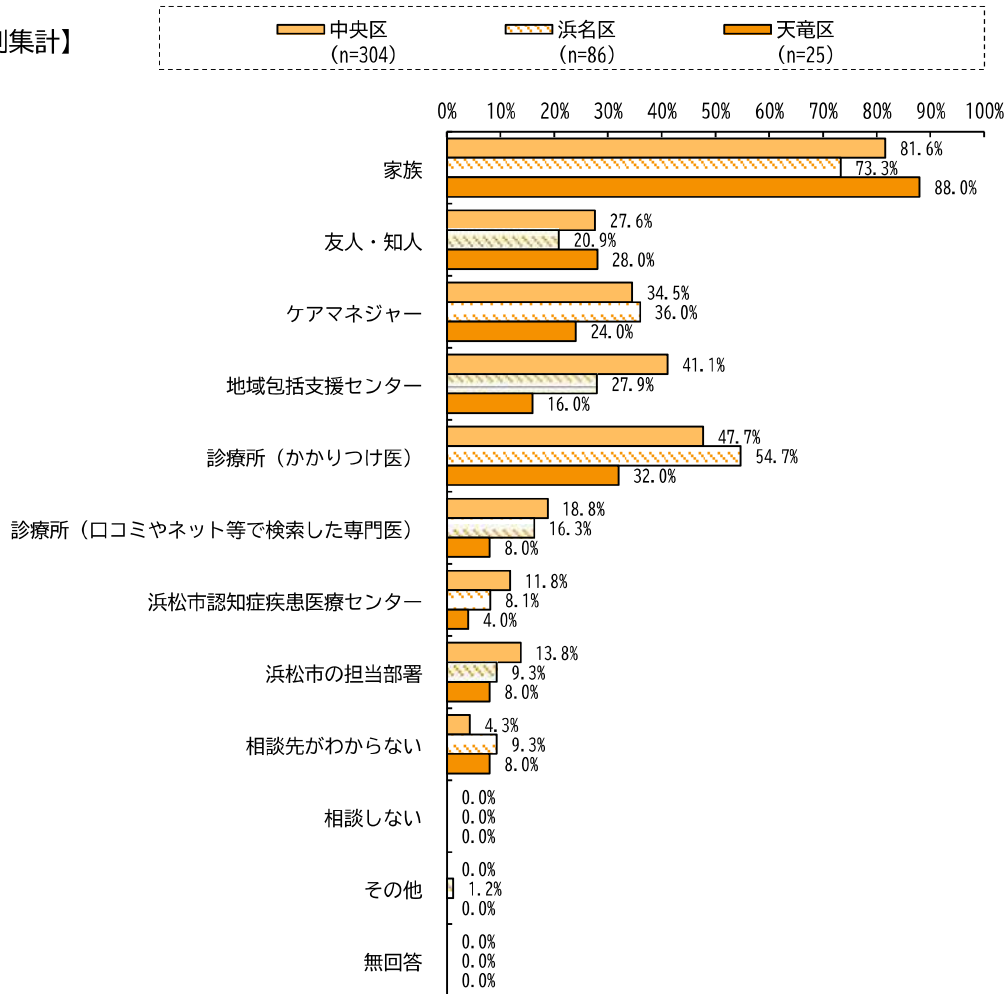
年齢別でみると、「家族」が～20歳代では9割を超えています。

区別でみると、「地域包括支援センター」は中央区で高くなっています。

【年齢別集計】



【区別集計】



「考えたことがない」理由

「考えたことはない」と回答した方にお伺いします

「考えたことがない」理由は何ですか（1つ）

<認知症に関する意識調査 問9>

【単純集計】

	件数	割合
自分や家族が認知症にならないと思うから	0	0.0%
認知症になった家族がいない	0	0.0%
認知症の人と接したことがない	0	0.0%
わからない	0	0.0%
その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合 計	0	0.0%

「考えたことがない」理由は回答対象者がいませんでした。

「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」の認知度

「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」について知っていますか（1つ）

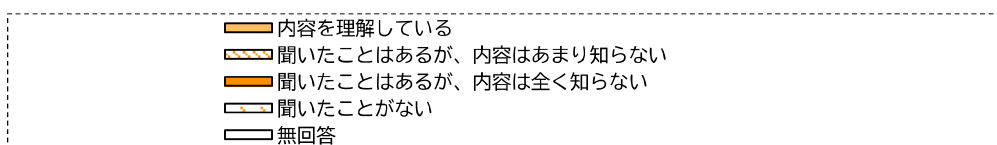
<認知症に関する意識調査 問10>

【単純集計】

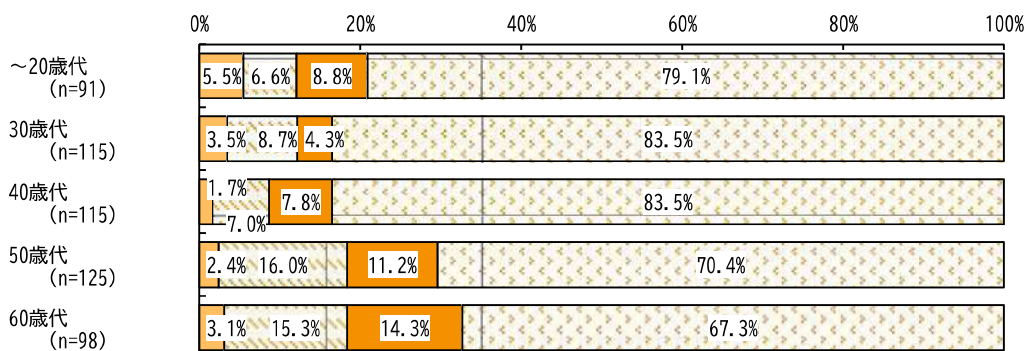
	件数	割合
内容を理解している	17	3.1%
聞いたことはあるが、内容はあまり知らない	59	10.8%
聞いたことはあるが、内容は全く知らない	50	9.2%
聞いたことがない	418	76.8%
無回答	0	0.0%
合計	544	100.0%

単純集計でみると、「聞いたことがない」が76.8%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容はあまり知らない」が10.8%、「聞いたことはあるが、内容は全く知らない」が9.2%などとなっています。

年齢別でみると、「内容を理解している」はすべての年齢で1割を下回っています。



【年齢別集計】



認知症の人の尊厳は守られているか

「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」の目的は、認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことですが、認知症の人の尊厳は守られていると思いますか（1つ）

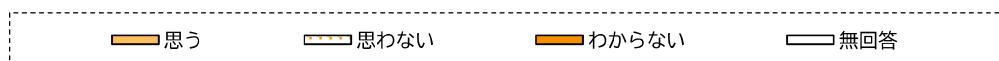
<認知症に関する意識調査 問11>

【単純集計】

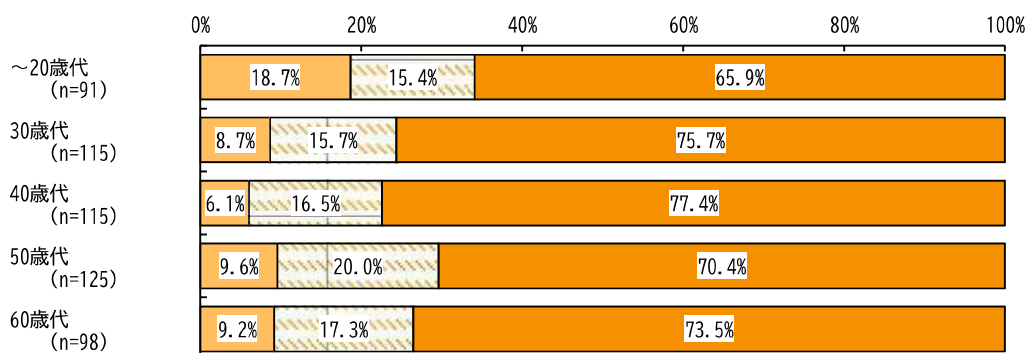
	件数	割合
思う	55	10.1%
思わない	93	17.1%
わからない	396	72.8%
無回答	0	0.0%
合計	544	100.0%

単純集計でみると、「わからない」が72.8%と最も高く、次いで「思わない」が17.1%、「思う」が10.1%となっています。

年齢別でみると、「思う」は～20歳代で高くなっています。



【年齢別集計】



**認知症になっても地域で暮らすために必要なこと**

自分や家族が認知症になっても、残された力や得意なことを活かしながら地域で暮らすためには、どのようなことが必要だと考えますか（複数）

<認知症に関する意識調査 問12>

**【単純集計】**

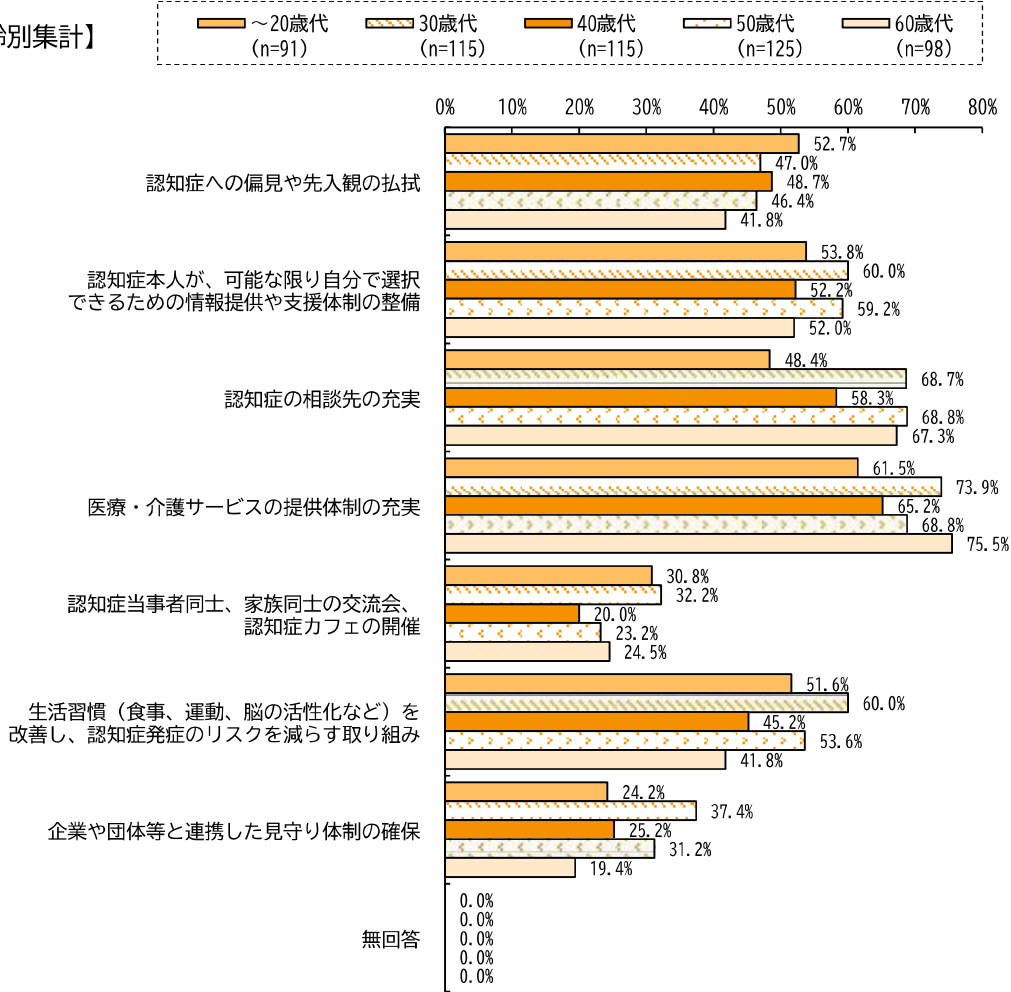
	件数	割合
認知症への偏見や先入観の払拭	257	47.2%
認知症本人が、可能な限り自分で選択できるための情報提供や支援体制の整備	303	55.7%
認知症の相談先の充実	342	62.9%
医療・介護サービスの提供体制の充実	376	69.1%
認知症当事者同士、家族同士の交流会、認知症カフェの開催	141	25.9%
生活習慣（食事、運動、脳の活性化など）を改善し、認知症発症のリスクを減らす取り組み	276	50.7%
企業や団体等と連携した見守り体制の確保	152	27.9%
無回答	0	0.0%
回 答 数	544	-

単純集計でみると、「医療・介護サービスの提供体制の充実」が69.1%と最も高く、次いで「認知症の相談先の充実」が62.9%、「認知症本人が、可能な限り自分で選択できるための情報提供や支援体制の整備」が55.7%などとなっています。

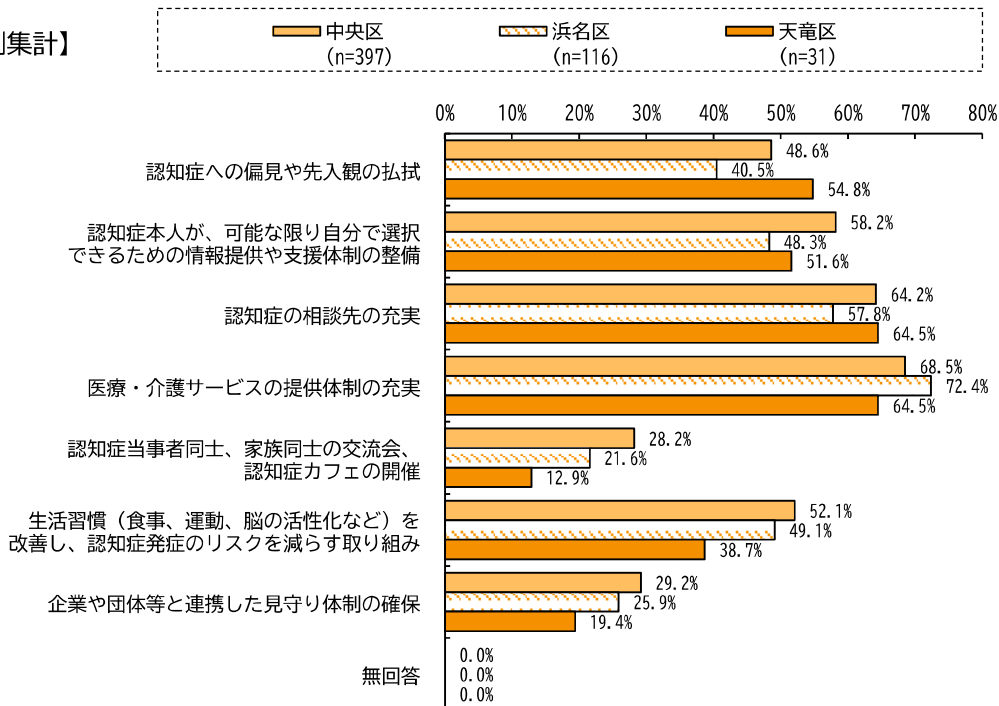
年齢別でみると、「認知症本人が、可能な限り自分で選択できるための情報提供や支援体制の整備」と「医療・介護サービスの提供体制の充実」はすべての年齢で5割を超えています。

区別でみると、「認知症の相談先の充実」と「医療・介護サービスの提供体制の充実」はすべての区で5割を超えています。

【年齢別集計】



【区別集計】



**認知症の人が地域で生活するために、自分ができる行動**

認知症の人が地域で生活するために、自分はどのような行動ができると考えますか（複数）

<認知症に関する意識調査 問13>

**【単純集計】**

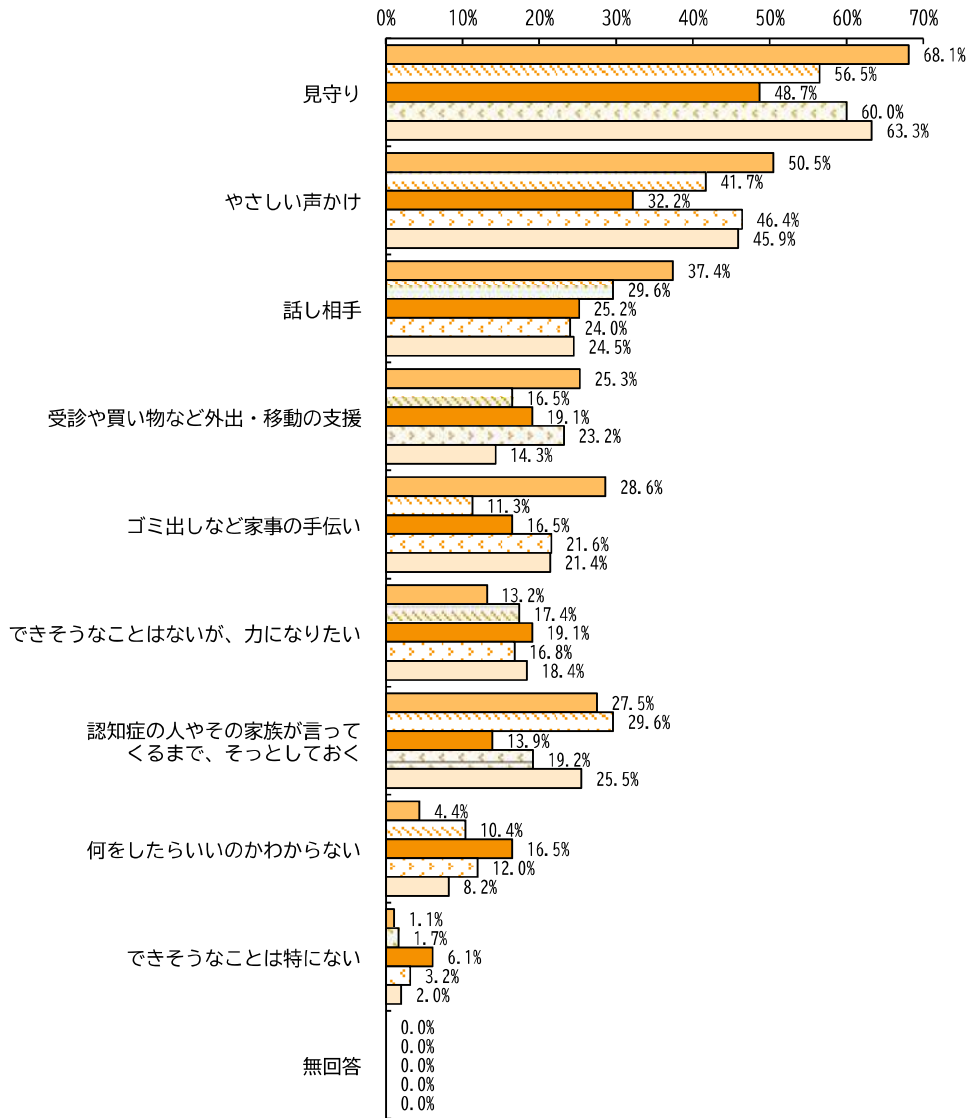
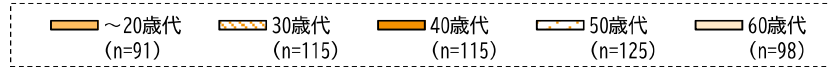
	件数	割合
見守り	320	58.8%
やさしい声かけ	234	43.0%
話し相手	151	27.8%
受診や買い物など外出・移動の支援	107	19.7%
ゴミ出しなど家事の手伝い	106	19.5%
できそうなことはないが、力になりたい	93	17.1%
認知症の人やその家族が言うまで、そっとしておく	124	22.8%
何をしたらいいのかわからない	58	10.7%
できそうなことは特にない	16	2.9%
無回答	0	0.0%
回 答 数	544	-

単純集計でみると、「見守り」が58.8%と最も高く、次いで「やさしい声かけ」が43.0%、「話し相手」が27.8%などとなっています。

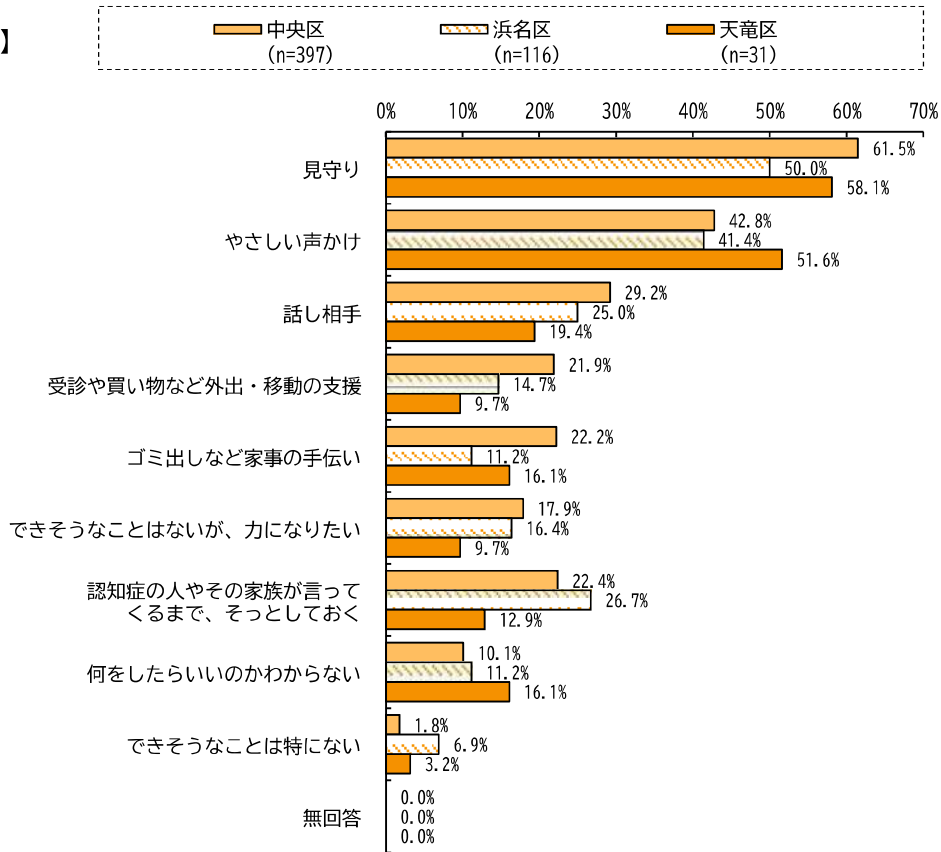
年齢別でみると、「ゴミ出しなど家事の手伝い」は～20歳代で高くなっています。

区別でみると、「やさしい声かけ」は天竜区で高くなっています。

【年齢別集計】



【区別集計】



認知症サポーターの認知度

認知症サポーター（認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者）を知っていますか（1つ）

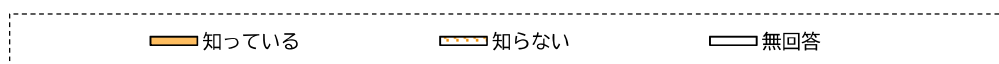
<認知症に関する意識調査 問14>

【単純集計】

	件数	割合
知っている	88	16.2%
知らない	456	83.8%
無回答	0	0.0%
合計	544	100.0%

単純集計でみると、「知っている」が16.2%、「知らない」が83.8%となっています。

年齢別でみると、大きな差はみられません。



【年齢別集計】



「成年後見制度」について知っていること

「成年後見制度」について、どのようなことを知っていますか（複数）

<認知症に関する意識調査 問15>

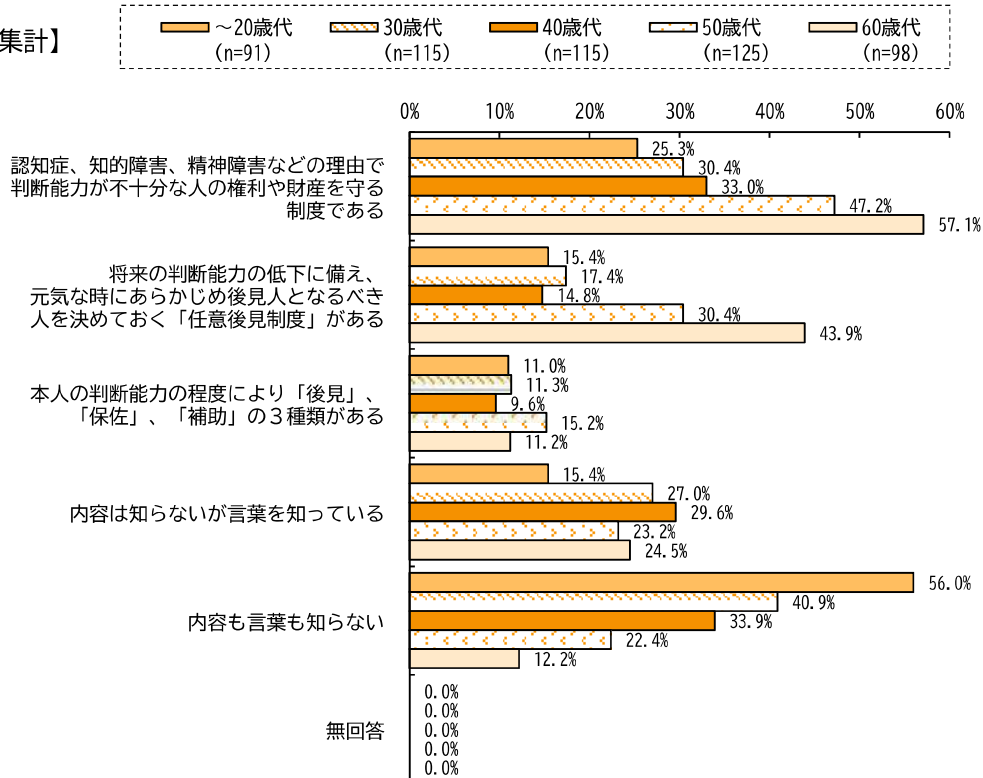
【単純集計】

	件数	割合
認知症、知的障害、精神障害などの理由で判断能力が不十分な人の権利や財産を守る制度である	211	38.8%
将来の判断能力の低下に備え、元気な時にあらかじめ後見人となるべき人を決めておく「任意後見制度」がある	132	24.3%
本人の判断能力の程度により「後見」、「保佐」、「補助」の3種類がある	64	11.8%
内容は知らないが言葉を知っている	132	24.3%
内容も言葉も知らない	177	32.5%
無回答	0	0.0%
回答数	544	-

単純集計でみると、「認知症、知的障害、精神障害などの理由で判断能力が不十分な人の権利や財産を守る制度である」が38.8%と最も高く、次いで「内容も言葉も知らない」が32.5%、「将来の判断能力の低下に備え、元気な時にあらかじめ後見人となるべき人を決めておく「任意後見制度」がある」と「内容は知らないが言葉を知っている」が24.3%などとなっています。

年齢別でみると、「認知症、知的障害、精神障害などの理由で判断能力が不十分な人の権利や財産を守る制度である」が年齢が高くなるにつれて高くなる傾向がみられます。

【年齢別集計】





## VII 付録 調査票



令和7年度 高齢者一般調査 調査票

浜松市では、令和9年度から11年度（2027年度から2029年度）の高齢者保健福祉計画（介護保険事業計画）等を策定するための資料として、市民の皆様を対象としたアンケート調査を実施いたします。

この調査は厚生労働省から示された項目を基に、今後の施策を検討するための重要な調査です。ご多用のところ恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

- 調査の対象者  
浜松市内在住の65歳以上の方の中から2,000名を無作為抽出しております。
- 個人情報と調査票の番号  
調査票右下の番号は事業計画策定のために集計・分析するためのものです。個人のお名前が出ることは一切ありません。

令和7年12月

一ご記入にあたってのお願いー

- 1 この調査票に、お名前のご記入は必要ありません。
- 2 ご回答は、封筒のあて名の方ご本人について記入してください。
- 3 ご気分などで、あて名の方ご本人が自分で答えるのが難しい場合は、ご家族またはお世話をなさっている方が記入をお手伝いするか、ご本人の立場に立って、代わって記入してください。
- 4 設問をお読みいただき、該当する数字に○をつけてください。設問によって「○はひとつ」「○は3つまで」「○はいくつでも」など、○をつける数が異なりますのでご注意ください。
- 5 ご回答いただきました調査票は、令和8年1月13日（火）までに同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずにポストに投かんしてください。

【お問合せ先】

（担当）浜松市 健康福祉部 高齢者福祉課 生きがい・長寿政策グループ  
（電話）053-467-2789（平日8：30～17：15）

（通し番号）

調査票を記入されたのはどなたですか。

1. あて名のご本人が記入
2. ご家族が記入（あて名のご本人からみただけ）
3. その他

あなたのご家族や生活状況について

問1 家族構成をお教えください。（○はひとつ）

1. 1人暮らし
2. 夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）
3. 夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）
4. 息子・娘との2世帯
5. その他

問2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。（○はひとつ）

1. 介護・介助は必要ない
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
3. 現在、何らかの介護を受けている  
（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）

問3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。（○はひとつ）

1. 大変苦しい
2. やや苦しい
3. ふつう
4. ややゆとりがある
5. 大変ゆとりがある

問4 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助を行っていますか。（○はひとつ）

1. 介護・介助を行っていない
2. 介護・介助をしている

問4で「2」と回答した方にお伺いします。

問4-1 どなたの介護・介助を行っていますか。（○はいくつでも）

1. 親
2. 配偶者
3. 兄弟、姉妹
4. 子
5. 孫
6. その他（ ）

<p>からだをうごかすことについて</p> <p>問5 階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか。(○はひとつ)</p> <p>1. できるし、している      2. できるけどしていない 3. できない</p> <p>問6 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。 (○はひとつ)</p> <p>1. できるし、している      2. できるけどしていない 3. できない</p> <p>問7 15分位続けて歩いていますが。(○はひとつ)</p> <p>1. できるし、している      2. できるけどしていない 3. できない</p> <p>問8 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○はひとつ)</p> <p>1. 何度もある      2. 1度ある 3. ない</p> <p>問9 転倒に対する不安は大きいですか。(○はひとつ)</p> <p>1. とても不安である      2. やや不安である 3. あまり不安でない      4. 不安でない</p> <p>問10 週に1回以上は外出(散歩なども含めます)していますか。(○はひとつ)</p> <p>1. ほとんど外出しない      2. 週1回 3. 週2～4回      4. 週5回以上</p> <p>問11 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○はひとつ)</p> <p>1. とても減っている      2. 減っている 3. あまり減っていない      4. 減っていない</p>	<p>食べることにについて</p> <p>問12 身長・体重(数字を記入)</p> <p>身長 <input type="text"/> cm      体重 <input type="text"/> kg</p> <p>問13 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○はひとつ)</p> <p>1. はい      2. いいえ</p> <p>問14 歯の数と入れ歯(部分入れ歯を含みます)の利用状況をお教えてください。 (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です。)(○はひとつ)</p> <p>1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし 3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし</p> <p>問15 どなたかと食事をもにすることをしますか。(○はひとつ)</p> <p>1. 毎日ある      2. 週に何度かある      3. 月に何度かある 4. 年に何度かある      5. ほとんどない</p> <p>毎日の生活について</p> <p>問16 物忘れが多いと感じますか。(○はひとつ)</p> <p>1. はい      2. いいえ</p> <p>問17 外出する際の主な移動手段は何ですか。(○はいくつでも)</p> <p>1. 自分で車を運転して移動している 2. 公共交通機関やタクシーを利用して移動している 3. 同居している親族に送迎してもらっている 4. 別居している親族に送迎してもらっている 5. 地域の方や知り合いに送迎してもらっている 6. その他(      ) 7. 移動手段が無く、頼る人もいないので困っている</p>
---	--

問18 バスや電車をを使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)  
(○はひとつ)

1. できるし、している      2. できるけどしていない  
3. できない

問19 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(○はひとつ)

1. できるし、している      2. できるけどしていない  
3. できない

問20 自分で食事の用意をしていますか。(○はひとつ)

1. できるし、している      2. できるけどしていない  
3. できない

問21 自分で請求書の支払いをしていますか。(○はひとつ)

1. できるし、している      2. できるけどしていない  
3. できない

問22 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○はひとつ)

1. できるし、している      2. できるけどしていない  
3. できない

問23 生きがい(喜びや楽しみ)を感じるのほどのような時ですか。  
(○はいくつでも)

1. 仕事をしているとき(農作業なども含む)
2. 教養を身につけること(学習)をしているとき
3. 健康づくりやスポーツをしているとき
4. 家族との団らんのとき
5. 友人や知人と過ごすとき
6. シニアクラブ・老人クラブ活動をしているとき
7. 地域活動(町内会、自治会、ボランティア等)に参加しているとき
8. 旅行に行っているとき
9. 散歩や買い物をしているとき
10. テレビを見たり、ラジオを聞いているとき
11. パソコン、インターネットをしているとき
12. 他人から感謝されたとき
13. 収入があったとき
14. おいしいものを食べているとき
15. 若い世代と交流しているとき
16. その他
17. 特になし

問24 パソコン・スマートフォン・タブレットをどのようなことに使用していますか。(〇はいくつでも)

1. 通話	
2. メール	
3. 情報検索	
4. SNS (ライン、フェイスブック、インスタグラムなど)	
5. 地図・ナビゲーション	
6. 動画や音楽視聴	
7. インターネットショッピング (アマゾンなど)	
8. 電子書籍	
9. ゲーム	
10. 電子決済 (PayPay、auPAYなど)	
11. 安否確認、緊急時の連絡用	
12. 行政手続き等の電子申請	
13. 使用していない、使用できない	
14. その他 ( )	

地域での活動について

問25 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

※①-⑧それぞれに回答してください。(それぞれに〇はひとつ)

① ボランティアのグループ	1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない
② スポーツ関係のグループやクラブ	1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない

③ 趣味関係のグループ	1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない
④ 学習・教養サークル	1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない
⑤ 介護予防のための通いの場 ・ロコトレサロン (ロコモーショントレーニング事業) ・地域の高齢者サロン など	1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない
⑥ シニアクラブ・老人クラブ	1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない
⑦ 町内会・自治会	1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない
⑧ 収入のある仕事	1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない

問26 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(○はひとつ)

- 1. 是非参加したい
- 2. 参加してもよい
- 3. 参加したくない
- 4. 既に参加している

問27 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(○はひとつ)

- 1. 是非参加したい
- 2. 参加してもよい
- 3. 参加したくない
- 4. 既に参加している

### 浜松市ささえあいポイント事業のご案内

受入登録のある施設や地域のサロン・配食団体等でボランティア活動や介護予防活動をすると、換金できるポイントがもらえます！

※まなび形会を受講してボランティア登録をお願いします(インターネット受講可)。

申込は電話 (TEL: 457-7011 浜松市社会福祉協議会) かインターネットで。

(1) ボランティアポイント

施設ボランティア

活動する人	65歳以上の市民の方
活動場所	受入登録のある市内の介護サービス事業所、高齢者福祉施設、障害者福祉施設、児童福祉施設、保育施設
活動内容	レクリエーションの補助や芸術鑑賞、話し相手、補助的作業等
ポイント	30分につき1ポイント(1ポイント100円相当) ※条件あり

地域ボランティア

活動する人	65歳以上の市民の方
活動場所	受入登録のある市内各級の高齢者等サロン、配食団体
活動内容	サロン運営、高齢者への配食
ポイント	30分につき1ポイント(1ポイント100円相当) ※条件あり

(2) 介護予防ポイント (1)のボランティアを合計で5ポイント以上取得した方

※事業について詳しくは、市ホームページをご覧ください。

問28 地域住民による支え合い活動(掃除や洗濯などの家事援助、交流や運動などの通いの場づくり)の担い手として参加してみたいと思いますか。(○はひとつ)

- 1. 既に参加している
- 2. 是非参加したい
- 3. 関心はあるが参加できていない
- 4. 関心はないが参加してもよい
- 5. 参加したくない

問29 地域住民による支え合い活動(掃除や洗濯などの家事援助、交流や運動などの通いの場)のうち利用したいサービスはありますか。(○は3つまで)

- 1. 掃除(ゴミ出し含む)
- 2. 洗濯
- 3. 電球の交換
- 4. 家具の移動
- 5. 草取り
- 6. 買物や薬の受取り
- 7. 病院やスーパーなどへの送迎
- 8. 交流や運動などの通いの場
- 9. その他( )
- 10. 利用したいものはない

あなたとまわりの人の「たすけあい」について

問30 あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人。(○はいくつでも)

- 1. 配偶者
- 2. 同居の子ども
- 3. 別居の子ども
- 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
- 5. 近隣
- 6. 友人
- 7. その他( )
- 8. そのような人はいない

問31 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげて人。(○はいくつでも)

- 1. 配偶者
- 2. 同居の子ども
- 3. 別居の子ども
- 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
- 5. 近隣
- 6. 友人
- 7. その他( )
- 8. そのような人はいない

問32 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人。

(〇はいくつでも)

- |            |                |
|------------|----------------|
| 1. 配偶者     | 2. 同居の子ども      |
| 3. 別居の子ども  | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 |
| 5. 近隣      | 6. 友人          |
| 7. その他 ( ) | 8. そのような人はいない  |

問33 反対に、看病や世話をしてあげる人。(〇はいくつでも)

- |            |                |
|------------|----------------|
| 1. 配偶者     | 2. 同居の子ども      |
| 3. 別居の子ども  | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 |
| 5. 近隣      | 6. 友人          |
| 7. その他 ( ) | 8. そのような人はいない  |

健康について

問34 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(〇はひとつ)

- |            |         |
|------------|---------|
| 1. とてもよい   | 2. まあよい |
| 3. あまりよくない | 4. よくない |

問35 ご自分の健康のためにどんなことを心がけていますか。(〇は3つまで)

- |                                       |
|---------------------------------------|
| 1. 休養や睡眠を十分にとる                        |
| 2. 食事に気をつける(栄養バランスを意識する、体に良い食べ物をとるなど) |
| 3. 歯や口の中を清潔に保つ                        |
| 4. 健康診断などを定期的に受ける                     |
| 5. 酒、タバコを控える                          |
| 6. 散歩やスポーツをする                         |
| 7. 地域の活動に参加する                         |
| 8. 教養や学習活動などの楽しみを持つ                   |
| 9. 気持ちをなごませるべく明るく持つ                   |
| 10. 身の回りのことはなるべく自分で行う                 |
| 11. 仕事を続ける                            |
| 12. その他                               |
| 13. 特に心がけていない                         |

問36 健康についてどのようなことが知りたいですか。(○は3つまで)

1. がんや生活習慣病 (高血圧など) にならないための工夫について
2. 望ましい生活について
3. 運動の方法について
4. 健康診断・各種検診の内容や受け方などについて
5. 寝たきりや介護の予防について
6. 歯の健康について
7. 認知症の予防について
8. うつ病の予防について
9. その他 ( )

問37 あなたは、現在のどの程度幸せですか。(○はひとつ)

「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、該当する点数に○をつけてください。

とても不幸
←
→
とても幸せ

0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点

問38 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(○はひとつ)

1. はい
2. いいえ

問39 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○はひとつ)

1. はい
2. いいえ

問40 タバコは吸っていますか。(○はひとつ)

1. ほぼ毎日吸っている
2. 時々吸っている
3. 吸っていたがやめた
4. もともと吸っていない

問41 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(○はいくつでも)

1. ない
2. 高血圧
3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)
4. 心臓病
5. 糖尿 病
6. 高脂血症 (脂質異常)
7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)
8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気
9. 腎臓・前立腺の病気
10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)
11. 外傷 (転倒・骨折等)
12. がん (悪性新生物)
13. 血液・免疫の病気
14. うつ病
15. 認知症 (アルツハイマー病等)
16. パーキンソン病
17. 目の病気
18. 耳の病気
19. その他 ( )

問42 「フレイル」という言葉を聞いたことがありますか。(○はひとつ)

1. 初めて聞いた
2. 聞いたことがある
3. 意味も知っている

※「フレイル」とは、加齢により心身の機能が低下し、健康な状態から要介護の状態へと移行する中間の段階を指します。